施策シート【18_01】

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	**枚方市駅周辺の再整備**	
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち
めざす姿（主観的満足度）		枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地である
概要		利便性が高く、魅力あふれる中心市街地の形成に向けて、商業、文化芸術、居住施設をはじめ、緑化等による景観など、交通結節点におけるさまざまな機能を充実できるよう、枚方市駅周辺の再整備を進める。

計画期間中の実施予定時期

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1．枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の推進 ○③街区の建築工事完了 ○市駅前行政サービス再編事業の完了 2．枚方市駅周辺再整備ビジョンの推進 3．外周道路などの整備 4．行政サービス充実のためのオフィス環境整備 5．新庁舎整備の検討 6．公民連携した市駅周辺の空間づくり	1．枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の推進 ○北口駅前広場再編完了 2．枚方市駅周辺再整備ビジョンの推進 5．新庁舎整備の検討 ○新庁舎整備基本計画の策定		

施策シート【18_01】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備

1．枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
他の街区に先駆け、「枚方市駅周辺再整備ビジョン」にさだめるまちなか交流拠点及び広域駅前拠点の形成を図るため、行政サービス再編や駅前広場、区画道路等の公共施設及び多様な都市機能と都市居住が集積する建築物の一体的な整備など、事業の実現に向けた技術的・財源的支援を実施。	・③街区の建築工事完了 ・市駅前行政サービス再編事業の完了（新たな市民窓口や市駅前図書館等の開設）	・北口駅前広場改良完了 ・本工事を以て、まちなか交流拠点・広域駅前拠点（北口駅前広場等）の形成が完了	－	－	市駅周辺まち活性化部
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業を推進し、ステーションヒル枚方などの複合施設や北口駅前広場などの公共施設の整備が完了したことで、新たなまちの拠点が形成できた。	・５月に③街区の建築工事（ステーションヒル枚方等）を完了した。 ・９月に市駅前行政サービスフロア（新たな市民窓口や市駅前図書館等）を開設した。	・北口駅前広場の改良工事完了 ・本工事を以て枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業のすべての工事が完了			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【18_01】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備

2. 枚方市駅周辺再整備ビジョンの推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
「枚方市駅周辺再整備ビジョン」に基づき、本市の中心市街地として魅力あふれる賑わいのあるまちの実現に向けた連鎖型まちづくりの具体化を図るため、各街区における取り組みを推進。併せて、まちの魅力や価値の向上を持続的に育むためにエリアマネジメントを促進。なお、取り組みに関する検討内容や将来像については、HPやSNS等を活用し、広く市民に対して発信していく。	・④⑤街区の土地区画整理事業の推進 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進 ・新庁舎整備基本計画策定に向けた庁舎機能等の検討 ・②街区地権者勉強会など	・④⑤街区の土地区画整理事業の推進 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進 ・新庁舎整備基本計画の策定 ・②街区地権者勉強会など	・④⑤街区の土地区画整理事業の推進 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進 ・新庁舎整備に伴う事業者募集 ・②街区準備組合活動サポートなど	継続	市駅周辺まち活性化部
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
各街区に関する取り組みを、関係者や関係機関等と協議しながら検討を進め、具体化を図る。	・④⑤街区の土地区画整理事業やみどりの大空間、エリアマネジメント導入等の検討、②街区地権者によるまちづくり協議会への支援を実施した。 ・庁舎機能について、他市視察や市民意見聴取などを行った。	・④街区と⑤街区の土地区画整理事業の検討や関係者協議等を実施した。 ・みどりの大空間等の検討を行った。 ・庁舎機能等について、有識者からの助言などをいただきながら検討を進めた。 ・②街区地権者への技術的支援及び駅前広場整備や再開発事業の具体化に向けた検討を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【18_01】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備

3．外周道路などの整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市駅周辺再整備ビジョンにもとづき外周道路などの整備を実施。	財政状況等を勘案し、他事業との調整・連携を図りながら計画的に整備工事を推進	継続	継続	継続	道路河川整備課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
道路用地取得に向け地権者と協議し交渉を進めるとともに、道路用地取得後に道路整備工事を進めていく。	用地取得に向け協議継続	用地取得に向け協議継続			
年度ごとの達成状況	△	△			

施策シート【18_01】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備

4．行政サービス充実のためのオフィス環境整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新庁舎でめざす体制や行政サービスを実現可能とするオフィス環境の整備を実施。	・執務スペース、書庫、倉庫などの整理 ・新庁舎における新たなワークスタイルについての調査研究 ・フリーアドレス（ユニバーサルレイアウト）、クラウドPBXなどの検証・順次導入 ・新庁舎における総合管理委託に向けた業務の洗い出し等の調査・検討 ・公用車の整理	継続	継続	継続	総務管理課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・現庁舎等の執務室等の使用状況について課題を整理し、新庁舎整備に向け、市民にとって便利で、職員が働きやすい執務環境のあり方について検討する必要がある。 ・ユニバーサルレイアウト及びクラウドPBXの導入効果について、引き続き検証を行いながら、今後、現庁舎において、窓口職場や技術職場などへの計画的な導入を進める。 ・新庁舎における総合管理委託に向けた業務の洗い出し等の調査・検討を進める必要がある。 ・新庁舎整備に伴い先行して除却予定の分館、第2分館、第3分館、車両事務所などの代替施設の課題を整理するとともに、公用車の最適化や一元管理に向けた検討が必要である。	・新庁舎整備機能検討等支援業務委託による現庁舎執務環境等調査において、執務スペースや会議室の使用状況、文書・物品の書庫や倉庫等の使用状況について調査した。 ・市駅前行政サービスフロアにおいて、多様な働き方に対応できる什器を導入し、ユニバーサルレイアウトを採用した。また、庁内電話について、公用スマートフォンを利用できるクラウドPBXを導入した。	・新庁舎整備機能検討等支援業務委託による職員への啓発等支援において、職員向けに「新庁舎に向けた新しい働き方（ユニバーサルレイアウト等）に関するワークショップ」を開催し、職員が新しい働き方や執務環境についての見識を深め、現状の庁舎の改善点について検討する取り組みを実施した。 ・枚方市保健所の移転に伴い、保健所各課でユニバーサルレイアウトを導入した。 ・まるっとこどもセンターのレイアウト変更に伴い、ユニバーサルレイアウトの執務スペースを追加した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【18_01】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備

5. 新庁舎整備の検討

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
庁内のワーキングチームにより、先進事例研究や市民の意見等も踏まえて、新庁舎基本計画を策定し、計画に基づき整備する。基本計画では、窓口機能や環境機能、付帯機能を含む庁舎機能などの整理を行う。なお、庁舎に関する検討内容や将来像については、HPやSNS等を活用し、広く市民に対して発信していく。	新庁舎整備基本計画策定に向けて、庁舎機能などについて、市民意見聴取や他市視察などを実施	新庁舎整備基本計画の策定	新庁舎整備に伴う事業者募集	新庁舎整備に伴う設計など	市駅周辺まち活性化部
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
庁舎位置が決定していないため、基本計画策定に向けた配置計画や事業手法の検討などに遅れが生じた。引き続き、早期の基本計画策定に努め、庁舎整備に取り組む。	・庁舎機能などについて、市民アンケートや障害者・高齢者等への個別意見聴取を行った。 ・庁内ワーキングチームと連携し、他市視察等を行った。	・庁舎機能等について、有識者からの助言などをいただきながら検討を進めた。			
年度ごとの達成状況	◎	△			

施策シート【18_01】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備

6. 公民連携した市駅周辺の空間づくり

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民や有識者などからの意見聴取やURとの意見交換を行いながら、民間提案を募るなど、公民連携した空間づくりに向けて取り組む。	・P-PFIなど、公民連携手法の検討 ・URと連携し、民間事業者からの提案 ・みどりの大空間等の整備方針の検討及びまちづくりの推進	継続	・市民や有識者への意見聴取、事業者ヒアリングの実施 ・効果的な民間提案に向け、URと意見交換 ・みどりの大空間等を含めたまちづくり計画の検討	・まちづくり計画の実現に向けた効果的な公民連携手法の検討 ・社会情勢の変化等、必要に応じて事業者ヒアリングの実施	市駅周辺まち活性化部
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
駅周辺の最適なまちづくりに向け、市民・市場ニーズを踏まえた土地利用案の検討が必要。効率的で質の高いまちづくりの検討に向け、有識者やURと意見交換を行い、専門的な知見等を取り入れながら検討を進める。	みどりの大空間等の整備方針等の検討を実施した。	④⑤街区のまちづくりについてURとの意見交換や、④街区の民間活力導入の可能性について複数事業者へヒアリングを行った。			
年度ごとの達成状況	○	△			

施策シート【18_01】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、総務部、保健所、環境部、土木部

施策名称	枚方市駅周辺の再整備

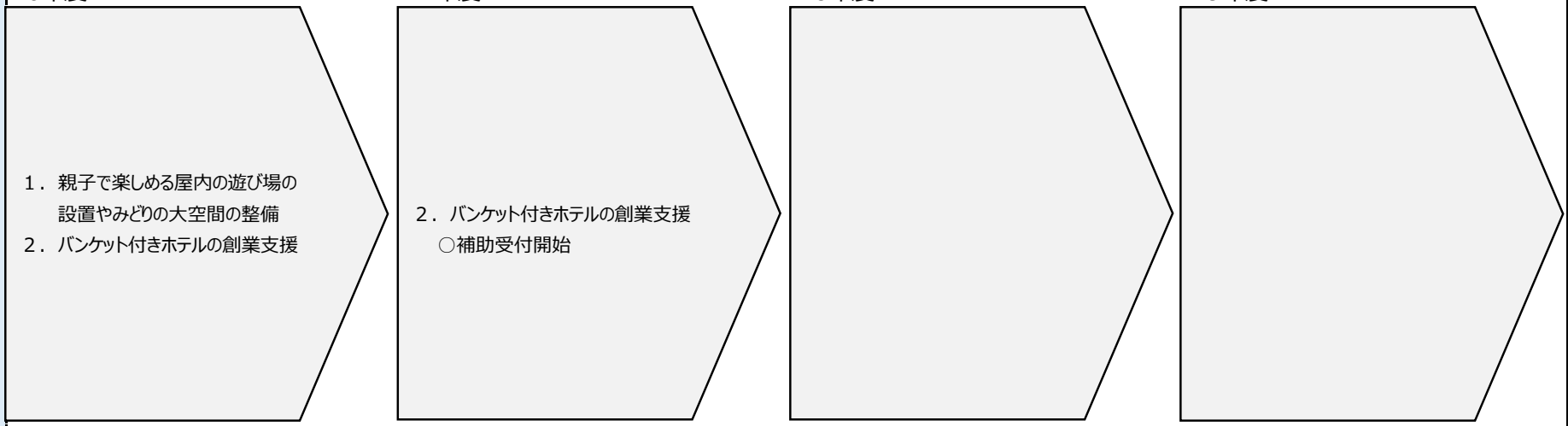
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
新庁舎でめざす体制や行政サービスを実現可能とするオフィス環境の整備	組織変更や人員の増減にフレキシブルに対応しやすいユニバーサルレイアウトを採用したのべ職員数	100	250	390	420	人	総務管理課	４．行政サービス充実のためのオフィス環境整備
各年度の実績		184	359			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和６年９月にオープンしたステーションヒル枚方内行政サービスフロア（職員数160人）においてユニバーサルレイアウトを導入し、目標値を達成した（令和5年度導入24人）。今後、現庁舎において、窓口職場や技術職場などへの計画的な導入を検討する。								
【施策指標の分析 R7】 窓口職場の市民課に加えて移転した保険所及びまるっとこどもセンター増員分においてユニバーサルレイアウトを導入し、目標値を達成した。 引き続き、窓口職場や技術職場などへの計画的な導入を検討する。								

施策シート【18_02】

市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部、子ども未来部

施策名称	**枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出**	
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち
めざす姿（主観的満足度）		枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地である
概要		枚方市駅周辺が、人々が集い交流し、さまざまな活動が活発に展開される拠点となるよう、賑わいづくりを創出する。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【18_02】ー 具体的な取り組み

市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部、子ども未来部

施策名称	枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出

１．親子で楽しめる屋内の遊び場の設置やみどりの大空間の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
(1)④街区の民間活力導入エリアや新庁舎の整備に向けて、親子で楽しめる屋内遊び場など、市民ニーズやURとの意見交換等を踏まえた募集要項の作成 (2)みどりの大空間の具体化に際し、市民や有識者などからの意見聴取などを行いながら実現に向けた取り組み。	市民ニーズ及びURとの意見交換等を踏まえた募集要項に記載する誘致施設や機能の検討・提案	継続	継続	・市民・市場ニーズを踏まえた募集要項構成案の整理	市駅周辺まち活性化部
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
整備時期を見据えたニーズの把握や意見聴取が必要。庁舎位置や事業手法の検討と合わせ、可変性を踏まえ柔軟かつ効率的に取り組む。	④⑤街区の土地区画整理事業の検討を実施した。	民活導入エリアの検討に向けて、URとの意見交換や事業者ヒアリングなどを実施した。			
年度ごとの達成状況	△	△			

施策シート【18_02】ー 具体的な取り組み

市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部、子ども未来部

施策名称	枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出

２．バンケット付きホテルの創業支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
新たな都市機能として長期的に安定した事業継続が可能となるよう、原則5年間、固定資産税および都市計画税等の相当額を支援。	固定資産税および都市計画税等の相当額を支援する補助制度の構築	補助受付開始	継続	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
令和7年度に制度の構築が完了したため、令和8年度以降においては、制度に基づき支援を実施する。	制度構築に向け協議を行った。	制度構築を行った（協議・検討、予算要求、補助金交付要綱制定、事業内容協議・認定）。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【18_02】ー 施策指標

市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部、子ども未来部

施策名称	枚方市駅周辺の賑わいづくりの創出

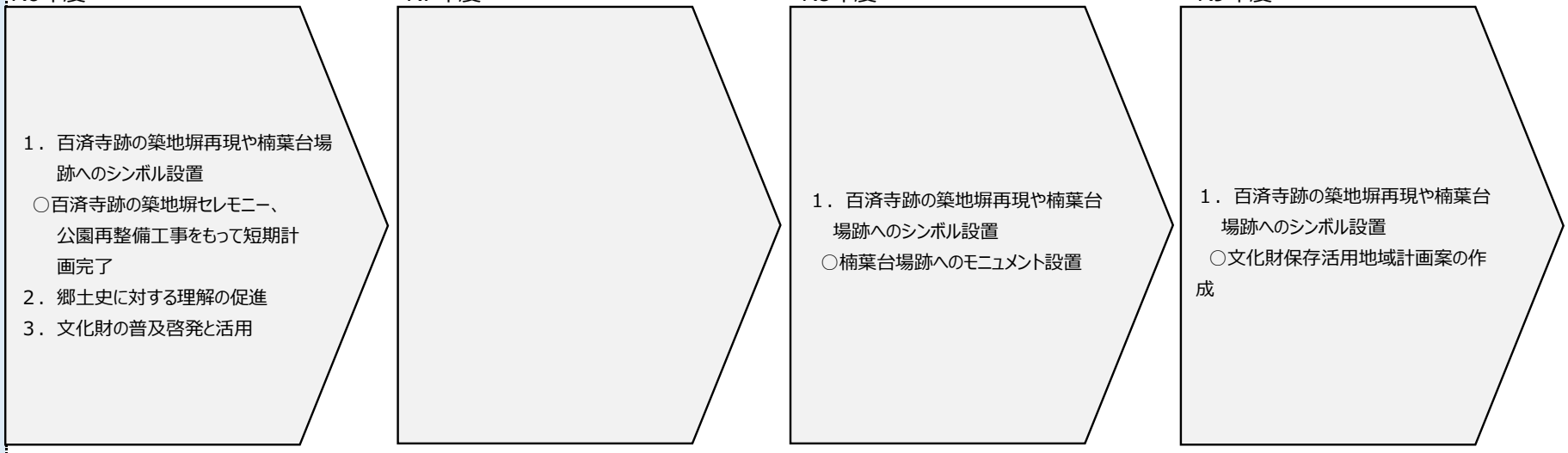
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ホテルとの連携実績数	ホテル宿泊者の市内店舗利用者数	2,072	3,551	3,729	3,907	人	観光交流課	2．バンケット付きホテルの創業支援
各年度の実績		300	350			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 ホテル宿泊者に市駅周辺飲食店マップを配布した。								
【施策指標の分析 R7】 ホテル宿泊者に市内店舗等の魅力を発信する情報誌を配布した。								

施策シート【19_01】

観光にぎわい部

施策名称	**歴史文化遺産の活用と情報発信の充実**	
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている
概要	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実を図り、まちへの愛着を育む。	

計画期間中の実施予定時期



施策シート【19_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実

１．百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①百済寺跡の築地塀再現 ②楠葉台場先行整備 ③文化財保存活用地域計画の策定 などにより市内文化財を普及啓発	①築地塀完成セレモニー、公園再整備工事をもって短期計画の完了 ②国・大阪府との協議	①アプローチ及び展示場整備の検討、大阪府との協議 ②整備に向けた方向性の検討、検討体制の整備など	①継続 ②楠葉台場跡へのモニュメント設置 ③審議会開催、地域の文化財の総合的な把握	①継続 ②楠葉台場跡の啓発 ③地域計画案の作成	文化財課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
①今後アプローチゾーン等の整備の方向性について検討する。 ②令和８年度中のモニュメントの設置に向け、手続きを進める。 ③文化財保存活用地域計画の策定に向けて取り組む。	①4月に築地塀完成セレモニーを実施した。同じく4月より第8期整備工事を実施し、舗装や築地塀周辺の排水設備、管理用柵、擁壁や駐車場工事、防犯カメラの設置、未設の説明板の設置を実施し３月末で工事が完了した。 ②11月から順次楠葉台場における整備について、大阪府と協議を開始した。	①整備報告書を作成し刊行した。 ②モニュメントの設置について、文化庁及び大阪府と協議し了承を得た。大砲の種類についても調査し、専門家にも助言頂き方向性を決めた。 また、令和８年度の設置に向けて、予算の確保を行った。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【19_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実

２．郷土史に対する理解の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市民の郷土史に対する理解を深め、市民文化の向上を図ることを目的に、枚方市史年報をはじめ市史に関する刊行物の編集、歴史資料の収集・整理・保存を実施。	・市史に関する刊行物の編集 ・歴史資料の収集・整理・保存 ・希望者へのレファレンス	継続	継続	継続	文化財課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
枚方市史年報などを刊行する。歴史資料の収集・整理・保存及び希望者へのレファレンスを随時行う。	令和６年３月に刊行した『枚方市史年報第26号』、『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』の有償頒布を４月に開始した。また、『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』については「ひらかた電子図書館」で５月に公開を開始した。『枚方市史年報第27号』、『増補版禁野火薬庫爆発遭難手記』を３月に刊行した。歴史資料の収集・整理・保存及び希望者へのレファレンスを随時行った。(318件)	令和７年３月に刊行した『枚方市史年報第27号』、『増補版禁野火薬庫爆発遭難手記』の有償頒布を４月に開始した。また、『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』（令和６年３月）を増刷した。『枚方市史年報第28号』を３月に刊行した。歴史資料の収集・整理・保存及び希望者へのレファレンスを随時行った。(296件)			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実

３．文化財の普及啓発と活用

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
（１）それぞれの施設などの説明板を多言語化することで、国内外に向けた、啓発普及及び観光資源としての活用を目指す。 ①旧田中家鋳物民俗資料館 ②枚方宿鍵屋資料館 ③特別史跡百済寺跡 （２）無形民俗文化財の登録 市内の祭りやだんじり等の民俗文化財調査を進めることで、市内初の無形民俗文化財の登録を目指します。	（１）説明板の多言語化や市ホームページによる特設サイトの作成、SNSなど、国内外を意識した啓発普及に取り組む ①旧田中家鋳物民俗資料館 市内工場や市内農家と連携したツーリズムを実施。 ②枚方宿鍵屋資料館 施設を活用したにぎわい創出事業の提案を含め、指定管理者を選定 ③特別史跡百済寺跡 ＡＲ映像の活用や発掘調査の際に出土した遺物の展示を実施。 （２）無形民俗文化財を登録	①、③は継続 ②は指定管理者による、にぎわい創出事業の拡充	継続	継続	文化財課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
（１）①市内工場や市内農家と連携したツーリズムを実施する。 ②鍵屋資料館の効率的かつ効果的な施設の管理運営と賑わい創出事業の拡充 ③映像を活用し普及啓発、観光資源の活用を行っていく。 （２）市内の祭り等の民俗文化財の調査や普及啓発を進める。	（１）①市内企業と旧田中家鋳物民俗資料館が連携して、工場見学日帰りツーリズムを３回実施した。市内農家と連携して「かまどでごはん」を１回実施した。②大阪府と連携し、万博前の啓発事業を実施した。また、施設を活用したにぎわい創出事業の提案を得て、指定管理者を選定した。③大阪工業大学が製作した百済寺跡AR映像を枚方まつりで試験公開し、３月末から本格公開した。 （２）春日神社（津田）の秋祭りの調査を実施し、無形の民俗文化財としては初めて枚方市登録文化財に登録した。	（１）①市内企業と旧田中家鋳物民俗資料館が連携して、工場見学日帰りツーリズムを３回実施した。市内農家と連携して「かまどでごはん」を１回実施した。②指定管理者による資料館運営を実施した。 大阪・関西万博の関連イベントとして、大阪府文化資源魅力向上事業を実施したほか、インバウンド対応として、展示の多言語解説音声ガイドの整備を行った。また、歴史講座「東海道57次と枚方宿」（講師：志田威氏）を開催した。③令和7年度末からの本格公開に向け、大阪工業大学と連携し、江戸時代の鍵屋浦のAR映像を制作した。 （２）令和７年３月に市登録文化財に登録した春日神社（津田）の秋祭りについて、境内に説明板を設置したほか、枚方市内の神社で行われている祭り（民俗文化財）13件および枚方市域の交野節の保護団体２団体の活動状況について、市ホームページ上に掲載し、市民への周知を図った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_01】ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
特別史跡百済寺跡と楠葉台場跡が内外に誇れる観光資源であると思う市民の割合	特別史跡百済寺跡と楠葉台場跡が内外に誇れる観光資源であると思う市民の割合	50	52	54	56	%	文化財課	1．百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置
各年度の実績		43.4	50.9			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 特別史跡百済寺跡は57.5%だが、楠葉台場跡は29.3%と低かったため、全体の割合が目標値を下回った。								
【施策指標の分析 R7】 特別史跡百済寺跡は66.5%だが、楠葉台場跡は34.2%と低かったため、全体の割合が目標値を下回ったが、前年よりは認知度が向上している。								
楠葉台場の訪問者数	楠葉台場跡の訪問者数（土曜日の11時～12時の1時間あたり）	-	-	-	4,440	人	文化財課	1．百済寺跡の築地塀再現や楠葉台場跡へのシンボル設置
各年度の実績		-	-	-		人	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 —								

施策シート【19_01】ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
レファレンス等利用件数	枚方の歴史や史料に関する質問・照会のほか資料の閲覧・複写及び貸出等の利用も含めたレファレンス等の件数	250	260	270	280	件	文化財課	2．郷土史に対する理解の促進
各年度の実績		318	296			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』を発売したことにより、レファレンス件数も増加した。								
【施策指標の分析 R7】 『新版楽しく学ぶ枚方の歴史』刊行記念講座を実施したことにより、レファレンス件数も順調に推移した。								

施策シート【19_01】ー 施策指標

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
文化財活用事業満足度	講習受講者アンケートで「満足」と回答したものの割合 【算出式：受講者アンケートにて「満足」と回答した人数／アンケート回答者数】	80	85	90	95	%	文化財課	3．文化財の普及啓発と活用
各年度の実績		89.3	87.9			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 体験工房はほぼ100%が満足との結果だが、古文書講座は85.9%、歴史講座は82%程度となっている。								
【施策指標の分析 R7】 体験工房はほぼ100%が満足との結果だが、古文書講座は81.1%、歴史講座は82%程度となっている。								
旧田中家鋳物民俗資料館の年間来館者数	旧田中家鋳物民俗資料館の年間来館者数	6,300	6,350	6,400	6,450	人	文化財課	3．文化財の普及啓発と活用
各年度の実績		5,459	4,178			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 観光バスの料金高騰や学校見学を鍵屋など他の市施設へ変更したなどの理由で、団体の来館者数が減少している。								
【施策指標の分析 R7】 観光バスの料金高騰や学校見学を鍵屋など他の市施設へ変更したなどの理由で、団体の来館者数が減少している。								

施策シート【19_01】ー 施策指標

施策名称	歴史文化遺産の活用と情報発信の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
大型観光バスで特別史跡百済寺跡に見学に来た団体観光客数	大型観光バスで特別史跡百済寺跡に見学に来た団体観光客数	750	200	220	240	人	文化財課	3．文化財の普及啓発と活用
各年度の実績		267	45			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 実績件数では令和5年度は9団体（699人）から、令和6年度は10団体と団体数は増えているが、1団体の平均人数が77.7人から26.7人と大幅に減少した。 減少要因は修学旅行生等の大口利用がなかったため。								
【施策指標の分析 R7】 減少要因は、万博の開催でバスの確保が難しかった事と韓国からの修学旅行生等の大口利用がすべて無断か当日のキャンセルとなったため。								
枚方宿鍵屋資料館の年間来館者数	枚方宿鍵屋資料館の年間来館者数	8,800	11,600	11,700	11,800	人	文化財課	3．文化財の普及啓発と活用
各年度の実績		11,085	13,518			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 新型コロナウイルス感染症の収束によりイベント数を増やしたことに加え、NHKの番組「ブラタモリ」において取材を受けたことにより来館者数が増加したと想定される。								
【施策指標の分析 R7】 集客効果のあるイベントの企画およびプロモーションを実施したことに加え、大阪・関西万博への出展、万博関連事業の実施、メディアからの取材の受け入れをしたことが来館者数増加に繋がったと考えられる。また、昨年度より多くの小学校に見学先として選ばれたことも来館者増加に繋がった。								

施策シート【19_02】

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	**観光施策の推進**	
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている
概要	観光資源の効果的な発信、地域内外の交流機会の創出を図る。	

計画期間中の実施予定時期①

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
１．観光マーケティング ２．新たな観光情報発信拠点の整備 ○新たな観光情報発信拠点（枚方市観光案内所Syuku56）のオープン ３．枚方宿エリアの新たな観光スポットを創出 ４．まちなみや町家の保全 ５．市駅周辺再整備にあわせた天野川の活用の推進 ６．淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航） ７．水辺アクティビティの展開 ８．サイクルロードの中継ポート整備 ９．東部地域の活性化 １０．「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進	１．観光マーケティング ○ 民間事業者との連携による万博を契機とした観光コンテンツ実施 ３．枚方宿エリアの新たな観光スポットの創出 ○ 療育園跡地の拠点オープン ６．淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航） ○万博を契機としたコンテンツ実施 ９．東部地域の活性化 ○新たな特産品・観光コンテンツを創出 ○ 複数の観光ツーリズムの実施 ○古民家活用事業開始 １０．「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進 ○ 複数の観光ツーリズムの実施、特産品の創出支援・販路拡大		７．水辺アクティビティの展開 ○水辺アクティビティの拠点オープン ８．サイクルロードの中継ポート整備 ○中継ポートオープン

施策シート【19_02】

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	**観光施策の推進**	
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている
概要	観光資源の効果的な発信、地域内外の交流機会の創出を図る。	

計画期間中の実施予定時期②

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
１１．農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援 １２．地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化 １３．市内大学生や留学生とともに体験型コンテンツの創出とプロモーションを推進 １４．ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 ○コミュニケーションツールの導入・運用 １５．地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 １６．「空飛ぶクルマ」の発着場整備 １７．大阪・関西万博への子どもたちの複数回無料招待 ○予約受付 １８．大阪・関西万博における自治体参加催事出展 １９．枚方フェスティバル協議会の支援 ２０．にぎわい空間の創出	１１．農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援 ○ 古民家活用事業開始 １４．ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 ○ 共創による、特産品や新たなビジネスの創出 １５．地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 ○ひらかた万博PRイベントの開催 １７．大阪・関西万博への子どもたちの複数回無料招待 ○ 子ども夢基金を活用した大阪・関西万博への無料招待を実施 １８．大阪・関西万博における自治体参加催事出展 ２０．にぎわい空間の創出 ○ 新たなにぎわい空間創出事業の具体化		

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み　　総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

１．観光マーケティング

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
観光マーケティングの観点から、本市の魅力向上及び様々な情報発信を実施（観光情報の継続的な発信・案内、観光コンテンツの開発、観光データ調査分析）	・観光データ分析に基づくターゲット設定 ・民間事業者との連携による万博を見据えた観光コンテンツの開発 ・万博を契機とした各種プロモーション事業との連携	・民間事業者との連携による万博を契機とした観光コンテンツ実施 ・プロモーション事業との連携	万博を契機に開発された観光コンテンツのさらなる展開	万博後の取り組みの効果検証と観光コンテンツのさらなる展開	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
万博を契機に造成したツアーのプロモーションを展開するとともに、引き続き民間活力を生かしたツアーの造成・販売を実現していく。	大阪観光局やDMO等と連携し、観光データ分析に基づくターゲット設定とともに、４つのツアー及び６つのモデルコースを造成しプロモーションを行った。	・大阪観光局と連携することで、前年度造成したツアー及びモデルコースを継続するとともに、休止していた東部地域の野菜収穫ツアーについては、東部農業コンテンツをオプション追加するなどニューアルを行った。 また、大阪観光局の宿泊税活用事業により、百済寺跡を活用した新規のツアー造成やＰＲを行った。 ・万博来訪者等をターゲットとしたグーグル広告や海外ＯＴＡ等によるプロモーションを行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

２．新たな観光情報発信拠点の整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
令和6年前期にオープンする新たな観光情報発信拠点	・枚方市観光案内所Syuku56のオープン、運営（委託） ・デジタル技術を活用した観光情報の発信	継続	継続	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
市全体の観光情報発信拠点として運営を行っていく。	・開業及び運営委託を行い、９月６日にオープンした。 ・くらわんかツーリズムや枚方宿のまち歩き、その他観光情報など計８本の動画をデジタルサイネージを活用し観光情報の発信を行った。	・引き続き、委託により運営を行った。 ・デジタルサイネージやデジタルマップを活用した観光情報の発信を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み　　総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

３．枚方宿エリアに新たな観光スポットを創出

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
幼児療育園跡地を活用し枚方宿地域の賑わい創出の拠点となるよう整備を推進する。西見附付近において、観光客誘致に向けた環境づくりの検討を行う。	・解体 ・検討（観光バス発着所の検討、枚方宿地区の案内板の設置、御宿場印帳、鍵屋活用の検討）	・療育園跡地の建築・オープン ・西見附付近の環境の充実	・暫定活用の際の土地使用におけるルールの策定 ・広場活用に向けた宅地造成工事 ・本活用に向けたヒアリングの実施	・広場の供用開始 ・本活用に向けたヒアリングの実施	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
幼児療育園跡地活用については、応募がなかったことを受け、暫定活用期間を設け、機運醸成を図っていく。	・建物解体は完了した。事業者公募に応募がなかったことを受け、観光バスの駐車も含めた広場としての暫定活用を行っていくことを決定した。 ・枚方宿エリアの看板更新により船着場までの動線明示を行うとともに、事業者による御宿場印帳販売に向けた調整や、鍵屋における体験コンテンツの磨き上げを行った。	療育園跡地の暫定活用に向けて、造成工事設計を行った。暫定活用時の運用方法などについて検討した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

４．まちなみや町家の保全

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①町家バンクを運営するまち協への支援。 （周知方法の検討） ②住宅まちづくり課と連携し景観補助制度の支援。 ③古民家再生協会との連携協定における活動の推進。 ④療育園跡地の活用において、景観形成のシンボリックな建物を創出。	まちづくり協議会等との連携による取り組みの推進	継続	継続	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
まちなみや町家の保全を実現する方法について引き続き検討する。	まちづくり協議会への支援を実施するとともに、まちなみや町家の保全を実現する方法について、庁内協議を行った。	まちづくり協議会への支援を実施した。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

５．市駅周辺再整備にあわせた天野川の活用の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
③街区のまちびらきにあわせた隣接区間の景観整備及び、左岸の高水敷の活用などについて河川管理者等と協議・調整など、ウォーカブルなまちづくりの実現に向けた取り組み	・③街区隣接区間の景観整備 ・ウォーカブルに資する水辺空間の活用に向けて河川管理者等との協議調整	・ウォーカブルに資する水辺空間の活用に向けて河川管理者等との協議調整 ・ワークショップの開催	・ワークショップの開催 ・ワークショップでの提案内容の実現に向けた具体策の調査等	・ワークショップの開催 ・天野川活用に向けた計画素案の作成	市駅周辺まち活性化部
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
庁内関係部署及び河川管理者（大阪府）等と継続した協議・調整が必要である。今後、大阪府等とのワークショップなどに取り組む。	・５月末に③街区隣接区間の景観整備を完了した。 ・河川管理者等と天野川のまちづくりへの活用等について意見交換を行った。	・河川管理者等と天野川のまちづくりへの活用等について意見交換を行った。 ・河川管理者や地元団体、周辺事業者等を含むワークショップを開催し、天野川の課題や魅力について意見交換を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

６．淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航）

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①淀川舟運整備推進協議会要望を経た舟運航路の確保。 ②淀川舟運活性化協議会での議論を踏まえた連携の推進	・船着き場への案内サイン ・国、府、民間事業者との連携による万博を契機としたコンテンツ開発や充実	・国、府、民間事業者との連携による万博を契機としたコンテンツ実施	・航路確保に向けた国への要望活動 ・利用者拡大に向けたPR	取り組みの継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き、航路確保や民間事業者による事業化を進めていく必要があり、要望活動や各関係者との連携に取り組む。	・看板更新により船着場までの動線明示を新たに６カ所で行った。 ・万博を契機としたコンテンツ開発について事業者と協議を行った。	引き続き、要望活動を実施したほか、舟運を活用したコンテンツ開発に連携・協力した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

７．水辺アクティビティの展開

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①ひらかた万博を意識し、国や府、沿川自治体、民間事業者との連携を更に深めアクティビティを充実。 ②かわまちづくり計画に沿った、堤防上の活用。まちへの周遊が促進される取り組みの展開。	・アクティビティコンテンツの充実 ・堤防上仮設整備・検証	堤防上仮設整備・検証	堤防上の設計 水辺アクティビティの拠点運営スキームの検証	堤防上の整備 水辺アクティビティの拠点運営	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
面で捉えた活性化、周遊促進の実現に向け、河川空間を利用した賑わい創出や堤防上の拠点形成に取り組む。	・アクティビティイベントを4回開催した。 ・堤防上の機能検証のための実証実験を10月に実施した。	・アクティビティや自然観察イベントを開催した。 ・堤防上の機能検証のための実証実験を10月に実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

８．サイクルロードの中継ポート整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①淀川河川敷堤防上及び②幼児療育園跡地を活用したにぎわい創出に取り組む中で、機能の一つとして、サイクリストを取り込む仕掛けとしてサイクルラックの設置等を行い、まちへの周遊が促進される取り組みを展開する。	①堤防上実証	①サイクルラック等の仮設設置 ②にぎわい創出施設の建築・オープン（サイクルラック等設置）	①堤防上整備 ②継続	①拠点運営 ②継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
跡地活用、堤防活用の両事業推進の中で具体化を図っていく。	堤防上の機能検証のための実証実験を実施した。	①堤防上の実証実験でサイクルラックを設置した。 ②駐輪機能を含む造成工事のために設計を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

９．東部地域の活性化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①概ねJR学研都市線以東の地域に存在する豊かな自然や農地などの地域資源を活用し、一層の魅力向上や地域の活性化を図る。 ②「枚方市東部地域の活性化に向けて」（令和４年３月策定）に沿った東部地域活性化の取り組みを推進。	①ツーリズム化の実証実験 ②2025年大阪・関西万博を見据え、新たな特産品・観光コンテンツを創出するとともに、持続可能なビジネス創出による地域活性化に取り組む ・古民家活用事業に伴う支援に向けた環境整備	・新たな特産品・観光コンテンツを創出 ・複数の観光ツーリズムの実施 ・古民家活用事業開始	継続	継続	政策推進課、農業振興課、観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
地域資源を活用したコンテンツやツアーの造成・継続を目指し、引き続きステークホルダーとの連携を推進していく必要がある。	・ひらかた万博共創事業創出補助金の活用等により、東部地域の農産物を使った特産品やスタンプラリーといった観光コンテンツが創出された。また、特産品の創出に向けたローカル10000プロジェクトを活用した民間事業者の取組支援を進めた。 ・市内団体により農産物の収穫や天体観測などのツアーが複数回実施された他、東部地域の自然・農といった観光資源を巡るツアーを造成し、販売を開始した。 ・観光資源の指定基準に基づき市が事業承認を行った穂谷地区の古民家において、本市の農産物を活用する飲食店が開業した。	・大阪・関西万博への出展を契機に、東部地域の農作物を使った特産品が複数創出された。 ・市内団体により農作物の収穫体験やツアーなどが開催された他、域内の魅力スポットを巡るスタンプラリーも行われた。 ・観光資源の指定基準に基づき市が事業承認を行った穂谷地区の古民家において、新たに本市の農作物を活用する飲食店が開業した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

１０．「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・地域・民間・大学等と連携し、地域資源の農と里山を活かしたプログラムを充実させることで、東部地域を活性化。 ・ひらかた万博共創プラットフォームにおいて、地域資源を活用した新たな産品（ひらかた万博ブランド）や地域ビジネスモデルを創出。	・地域資源を活かした観光コンテンツや特産品の創出支援 ・ツーリズム化の実証実験	・複数の観光ツーリズムの実施 ・特産品の創出支援・販路拡大	継続	継続	政策推進課、農業振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
各プログラムをとりまとめ、エリアとしての情報発信を強化する必要がある。年間スケジュールの見える化や各ステークホルダーとの連携等を推進していく。	・ひらかた万博共創事業創出補助金の活用等により、東部地域の農産物を使った特産品やスタンプラリーといった観光コンテンツが複数創出された。 ・市内団体が令和７年度に実施予定の実証実験（モニターツアー）について、関係者間で実施に向けた協議を行った。	・市内団体が交通事業者等と連携し、東部地域の自然・歴史スポットを周遊するサイクリングツアーが実施された。 ・大阪・関西万博への出展を契機に、東部地域の農作物を使った特産品が複数創出された。 ・穂谷地域で行う収穫体験等の情報をマップにまとめて市及びDMOにおいて情報発信を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

１１．農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
古民家を活用した農泊や農業レストラン開設に向けた環境整備	農泊等の農業に関わる古民家活用事業に伴う支援に向けた環境整備	農泊等の農業に関わる古民家活用事業開始	継続	継続	農業振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
古民家所有者と地域の意向を踏まえたうえで、実施可能な事業者を探す必要がある。今後も情報収集を行いながら、農泊等の実現を目指す。	候補物件を、建築時期や所有者の意向が確認できる3か所にしぼり、所有者や事業者と協議を進めたが、農泊の実施には至らず。	古民家再生協会と随時情報共有を行っているが、農泊の実施には至らず。			
年度ごとの達成状況	△	△			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

１２．地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ひらかた万博共創プラットフォームにおいて、地域資源を活用した新たな観光コンテンツや地域ビジネスモデルを創出。 また、インバウンド向けも含め観光客の増加を目指したツーリズムを構築。	・観光コンテンツの創出に向けた取り組み ・ツーリズム化の実証実験 ・効果的な広報PRの検証 ・外国人のニーズ調査 ・観光協会、DMO及び民間事業者との連携	観光ツーリズムの商品化及び効果的な情報発信	継続	継続	政策推進課、観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
インバウンド向けの効果的な情報発信が必要である。国内外からの誘客に向けて、地域資源を活用したツアー等について、効果的な情報発信が必要である。	ひらかた万博共創事業創出補助金を活用した観光コンテンツが２つ創出された他、大阪観光局やDMO等と連携し、インバウンドをターゲットに設定し観光データ分析に基づく４つのツアー及び６つのモデルコースを造成しプロモーションを行った。 また、ひらかた万博PRイベントにおける海外向けプロモーションを行い、海外における本市の認知度を高め、実際の誘客にも繋げることができた。	・ひらかた万博共創事業創出補助制度を活用した観光コンテンツが２つ創出された。 ・ひらかた万博ＰＲイベントにおけるインバウンド向けプロモーションを行い、イベントへの誘客に繋げることができた。 ・大阪観光局と連携することで、万博来訪者等をターゲットとしたグーグル広告や海外ＯＴＡ等によるプロモーションを行った。また、大阪府の宿泊税を活用した大阪観光局の事業により、百済寺跡を活用した新規のツアー造成等を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

１３．市内大学生や留学生とともに体験型コンテンツの創出とプロモーションを推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
留学生等と連携したコンテンツ開発、ツーリズム調査、文化観光協会によるコンテンツ磨きあげへの支援	・留学生等と連携した随時コンテンツの磨きあげ ・ツーリズムの実証 ・文化観光協会によるコンテンツ磨きあげへの取り組み支援	継続	継続	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き、民間活力による地域資源を活用したツアー造成、コンテンツ造成をバックアップしていく。	・文化観光協会と関西大学の学生が連携し、スタンプラリーを実施した。 ・大阪観光局等と連携しツアーを造成した。 ・文化観光協会等と連携し大阪DCキャンペーンに向けたコンテンツの磨き上げを支援した。	市の観光資源である七夕伝説及び「ひらかた七夕まつり」について、市内大学生留学生によるＳＮＳでのＰＲを行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

１４．ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ひらかた万博共創プラットフォームにおいて、地域資源を活用した新たな産品（ひらかた万博ブランド）や地域ビジネスモデルを創出。	・マッチング促進に向けた会議運営 ・実効性の高いプロジェクト化の検討（必要に応じ部会設置） ・ひらかた万博共創事業創出補助制度の運用 ・共創を支援するコミュニケーションツールの導入・運用	・共創による、特産品や新たなビジネスの創出 ・ひらかた万博共創事業創出補助制度の運用 ・共創を支援するコミュニケーションツールの運用 ・継続した取り組みの検討	－	－	政策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き、多様な主体による地域資源を活用したコンテンツの創出を促進する必要がある。	・事業者同士のマッチングを促進するため、ひらかた万博共創プラットフォーム会議を開催するとともに、共創の取組を促進するためのコミュニケーションツール（ビズフェス）を導入した。 ・共創プラットフォームの参加団体を中心に、令和７年度の東部地域におけるツアー造成に向けた検討体制が構築され、市として協力、支援を行っている。 ・ひらかた万博共創事業創出補助制度を活用し、特産品３つと２つの観光コンテンツが創出された。	・大阪・関西万博への出展を契機にひらかた万博共創プラットフォーム内の事業者間の共創により、市内の農作物を使った特産品が複数創出された。 ・ひらかた万博共創事業創出補助制度を活用し、２つの観光コンテンツが創出された。 ・令和６年度より導入しているビズフェスを活用し、行政からの情報共有などを継続的に実施した。 ・ひらかた万博共創プラットフォームの機能を継承する新たなプラットフォームについて、令和８年度の構築に向け			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

１５．地域資源を活かしたパビリオン事業の実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方市全体をパビリオンに見立て、市民、企業、事業者、市民団体、大学等、多様な主体と連携し、枚方の魅力向上につながる地域資源を活用した観光事業やイベント等を市内の様々な場所で実施。	・パビリオン事業の参加・参画促進 ・市内外への効果的なPR及び検証	・ひらかた万博PRイベントの開催及びそのプロモーションを実施 ・パビリオン事業の情報発信を強化	―	―	政策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き、多様な主体と連携し、枚方の地域資源を活用したパビリオン事業を市内の様々な場所で実施する。 また、パビリオン事業のパッケージ化など、効果的に情報発信を行い、誘客を図る。	多様な主体と連携し、92のパビリオン事業を実施した。あわせて、ひらかた万博公式インスタグラムを立ち上げ、情報発信を行った。	多様な主体と連携し市内各地でパビリオン事業を実施するとともに、パビリオン事業の「パッケージ化」による効果的な情報発信を推進した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

１６．「空飛ぶクルマ」の発着場整備

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・共創推進プラットフォームにで市内での離発着に向けた調査・検証 ・空飛ぶクルマの社会受容性の向上	"・市内離発着場所の整備を見据えた空飛ぶクルマの考え方の整理 ・空飛ぶクルマ体験型イベント実施"	継続	・国や府の動向等の情報収集 ・運航・機体製造・離着陸場整備事業者等の関連企業との関係構築 ・イベント出展や学校との連携による社会受容性向上 ・市内での事業を検討する民間企業への各種支援	継続	政策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・法整備や機体の開発が遅れているが、国や府の動きに注視し、情報収集を行うとともに、社会受容性の向上を目指した取組が必要である。	・国や府による勉強会等で情報収集を行った。 ・ひらかた万博ＰＲイベントをはじめとした計4回のイベントでＶＲ体験等を実施し、空飛ぶクルマに関する市民アンケートを実施した。	・国や府による勉強会等で情報収集を行った。 ・中学、高校、大学のPBLを通じて、社会受容性の向上に取り組んだ ・民間企業と市内におけるVポートの具体的な候補地についての対話や、河川公園での実証実験に協力した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

１７．大阪･関西万博への子どもたちの複数回無料招待

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
大阪府が実施する大阪･関西万博会場への無料招待に加え、申請日に枚方市に居所を有する満４～17歳（令和7年4月1日時点）の子どもを対象として、無料招待を実施することで、次代を担う子ども達が将来に向けて夢や希望を育む機会を支援。	子ども夢基金を活用した大阪･関西万博への無料招待の実施に向けた予約受付	・子ども夢基金を活用した大阪･関西万博への無料招待の実施に向けた予約受付 ・子ども夢基金を活用した大阪･関西万博への無料招待を実施	－	－	政策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・引き続き市民に対しての情報発信を強化し、事業の周知を行う必要がある。 ・引き続き、交付処理を申請から概ね6営業日以内に行っていく必要がある。	・無料招待を実施するため、要綱等を制定し、府が指定する事業者に配付対象者の要件審査、コールセンターの運営、WEBサイト運営等の周知・啓発を委託し、無料招待のチケットIDを配付した。 ・市HP、市公式SNS、デジタルサイネージ等で事業の周知を行った。	・広報誌、市公式SNS等で事業の周知を行った。 ・チケットIDに係る交付処理を適切に行った			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】－ 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

１８．大阪･関西万博における自治体参加催事出展

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
大阪･関西万博会場において、本市の歴史文化や地域資源などの魅力を発信し、本市に誘客することを目的に、府内自治体が参加する催事「大阪ウィーク」や万博首長連合会員自治体が共創する催事「Resolution of LOCAL JAPAN展」に出展。	・大阪ウィークの出展準備 ・Resolution of LOCAL JAPAN展の出展準備	・大阪ウィークの出展 ・Resolution of LOCAL JAPAN展の準備、出展	－	－	政策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
出展に向けた具体的な調整に向けて、博覧会協会、万博推進局、出展事業者等との各種調整を進める。 また、出展と連動して、本市域で企業団地見学ツアー等によるビジネスマッチングの機会を創出していく。	＜出展内容＞ ●大阪ウィーク ①関西医科大学が取り組む最先端の医学研究の展示や医療技術の体験 ②市PR大使のたけうちちひろさんが監修する子ども向け体験型ワークショップと制作物展示 ③スターダスト河内等による交野節・万博音頭の披露 ④市内企業によるオープンファクトリー ⑤市内の特産品、銘菓、郷土料理等の試食・体験 ⑥市内中学校合同メンバーによる吹奏楽演奏 ●LOCAL JAPAN展 神奈川県箱根町、静岡県三島市、大阪府和泉市とともに、宿場や旧街道、浮世絵といった江戸時代の文化を軸としたブースで、淀川舟運や枚方宿等の情報を発信。	予定していた７つの大阪ウィーク出展及びLOCAL JAPAN展について、すべて滞りなく実施できた。 また、大阪・関西万博を契機につながりの生まれた海外との交流について、インドネシア及びオーストラリア・クイーンズランド州とのビジネスマッチングの機会を創出した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

１９．枚方フェスティバル協議会の支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
枚方まつりの実施及び各イベントを支援する枚方フェスティバル協議会に対し補助金を交付し、各イベントを支援。	・開催時期の検証 ・イベント内容の検証・充実	イベント内容の検証・充実	継続	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
今後も引き続き適正な運営のあり方について同協議会において協議を行っていく	・初となる秋開催に向け調整、支援を実施した。 ・協議会の取り組みに対する支援の充実を行った。	・枚方まつりの開催に向け調整、支援を実施した。 ・協議会の取り組みに対する支援を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】ー 具体的な取り組み

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

２０．にぎわい空間の創出

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ニッペパーク等で開催されるイベント支援 、河川空間におけるにぎわいづくり	・課題整理/検証 ・事業者が活用しやすい仕組みづくりへの検討	新たな仕組みによる事業の具体化	継続	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
民間主体による賑わい創出に向け、支援内容の充実を図っていく。	23件のイベント実施を支援するとともに、実施者アンケートを行い、活用しやすい仕組みづくりの検討を行った。	31件のイベント実施を支援するとともに、公園管理者と協議し、支援要件や安全管理を徹底するための変更などを行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_02】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
観光消費推計額	観光消費単価×一週間あたり平均滞在者数	602,862	678,080	753,297	828,515	千円	観光交流課	1．観光マーケティング
各年度の実績		533,784	642,145			千円	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和5年度から増加したものの、目標値の約88%に留まった。								
【施策指標の分析 R7】 令和6年度から増加したものの、目標値の約94%に留まった。								

施策シート【19_02】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
新たな観光情報発信拠点利用者数	デジタルサイネージ等を活用した令和6年前期にオープンする新たな枚方市観光案内所「Syuku56」の利用者数	30,000	72,000	73,000	74,000	人	観光交流課	２．新たな観光情報発信拠点の整備
各年度の実績		67,267	59,693			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 ２倍以上の目標値を達成した。								
【施策指標の分析 R7】 利用者は月平均5,000人で推移しており、目標値には到達しなかった。								

施策シート【19_02】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
多様な組織・団体によるワークショップの回数（累積）	地元・地域団体等の多様な組織・団体と天野川の活用に向けて意見交換を行うワークショップの開催数	-	-	5	6	回	市駅周辺まち活性化部	５．市駅周辺再整備にあわせた天野川の活用の推進
各年度の実績		-	2			回	備考	
【施策指標の分析 R6】 ―								
【施策指標の分析 R7】 天野川の活用に向けたワークショップを目標通り２回開催した。								
天野川の活用に向けた取組と連携したイベントの実施回数（累積）	天野川の活用に向けた取組と連携して、事業者や地域団体などが天野川周辺で実施するイベントの数	-	-	2	4	回	市駅周辺まち活性化部	５．市駅周辺再整備にあわせた天野川の活用の推進
各年度の実績		-	1			回	備考	
【施策指標の分析 R6】 ―								
【施策指標の分析 R7】 天野川の活用に向けたワークショップの参加者が主催するイベントに参加した。								

施策シート【19_02】－ 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
舟運イベント乗船客数	舟運事業者が運航する舟運イベント乗船客数	1,740	2,294	2,847	3,400	人	観光交流課	６．淀川舟運の充実（淀川舟運の定期運航）
各年度の実績		1,876	1,882			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 民間事業者２社により舟運事業が実施された。乗船客数の規模としては、コロナ前の水準に戻り、目標達成した。								
【施策指標の分析 R7】 民間事業者２社により舟運事業が実施された。乗船客数の規模としては、コロナ前の水準となった。								

施策シート【19_02】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
淀川河川敷枚方エリアの活性化（全体）	目標年間利用者数（人）	550,000	575,000	600,000	625,000	人	観光交流課	7．水辺アクティビティの展開
各年度の実績		469,995	567,620			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 猛暑が10月頃まで続いたため、利用者数が伸び悩んだ。								
【施策指標の分析 R7】 目標未達となった。昨年と同様、猛暑が続き、利用者数が伸び悩んだ。								

施策シート【19_02】－ 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
東部地域の古民家を活用した観光施設の数	東部地域の古民家を活用した民間宿泊施設等の観光施設の数（延べ）	1	2	3	4	箇所	政策推進課	９．東部地域の活性化 １１．農業体験や古民家を活用した観光ビジネスの支援
各年度の実績		1	2			箇所	備考	
【施策指標の分析 R6】 穂谷地区で古民家を活用した飲食等の店舗が開業した。その他においても民間事業者や地元所有者との協議や対話を実施しており、引き続き取り組みを行う。								
【施策指標の分析 R7】 昨年度に開業した飲食店は閉業したが、新たに本市の農作物を活用する飲食店が開業した。								

施策シート【19_02】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
創出観光コンテンツ数	創出した特産品、参加・体験などの観光コンテンツの数（延べ） ※うち()内は東部地域の数	5（2）	20（11）	28（15）	31（18）	個	政策推進課	９．東部地域の活性化 １２．地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化
各年度の実績		17（8）	25（12）			個	備考	
【施策指標の分析 R6】 ひらかた万博共創事業創出補助金を活用した特産品や観光コンテンツ等が創出され、目標を上回った。								
【施策指標の分析 R7】 大阪・関西万博を契機とした新たな特産品や、ひらかた万博共創事業創出補助金を活用した観光コンテンツなどが創出され、目標を上回った。								

施策シート【19_02】－ 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
本市への訪日外国人旅行者数	大阪府に来た訪日外国人旅行者のうち、本市を訪問した推計人数	35,000	45,000	56,000	68,000	人	政策推進課	９．東部地域の活性化 １２．地域資源を活かした観光コンテンツの創出及びツーリズム化 １４．ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進 １５．地域資源を活かしたパビリオン事業の実施 １８．大阪・関西万博における自治体参加催事出展
各年度の実績		29,300	88,020			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和５年における本市への訪日外国人旅行者数（19,600人）より約50%増加したが、目標値を達成しなかった。令和７年度については大阪・関西万博への来場者をターゲットに更なる誘客に取り組む。								
【施策指標の分析 R7】 大阪・関西万博への出展やひらかた万博によりインバウンド誘客の取り組みを進めたところ、本市への訪日外国人旅行者数は前年比約300%となり、目標を大きく上回った。								

施策シート【19_02】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
民間活力を活用したプロジェクトの実施数（累計）	「癒しの郷氷室・津田～美healthプロジェクト」の実施数	5	6	7	8	件	農業振興課	１０．「癒しの郷氷室・津田～美Healthプロジェクト」の推進
各年度の実績		5	7			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 農業者や事業者の取り組みにより充実が図られた。（トウモロコシ収穫、さつまいもたい焼き用さつまいも収穫、キャッサバ収穫、摂南大学PBL、枚方メンマの販売）								
【施策指標の分析 R7】 農業者や事業者の取組みにより充実が図られた。（ハーブ栽培、アロマセラピー（石鹸づくり講座））								

施策シート【19_02】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
共創により生まれた特産品の数	共創により新たに創出された特産品の延べ個数	3	5	12	14	個	政策推進課	１４．ひらかた万博共創プラットフォームによる共創の促進
各年度の実績		4	10			個	備考	
【施策指標の分析 R6】 共創の取り組みにより、4つの特産品が生まれた。令和6年度は目標値を達成したが、令和7年度も引き続き目標達成に向け、取り組みを促進する。								
【施策指標の分析 R7】 大阪・関西万博への出展に向けたひらかた万博共創プラットフォーム内での共創等により、昨年度の個数を超える特産品が創出された。								

施策シート【19_02】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
誘客につながる参加体験イベント数	ひらかた万博の取組において地域資源を活かして開催された参加・体験イベント等の数	55	60	―	―	事業	政策推進課	１５．地域資源を活かしたパビリオン事業の実施
各年度の実績		92	92			事業	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度は55の目標に対し、92ものイベントを実施することで目標を達成することができた。令和7年度も引き続き、事業数を増やすとともに、テーマごとに効果的に情報発信することで、市への誘客を図る。								
【施策指標の分析 R7】 令和７年度は83のイベントを実施し、本市へのさらなる誘客とまちへの愛着醸成につながった。また、団体間での交流が生まれるなど、本市の活性化に寄与する様々な効果が生まれた。								

施策シート【19_02】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
空飛ぶクルマビジネス共創部会の事業数	空飛ぶクルマビジネス共創部会（効果検証、可能性検証、社会受容性向上グループ）で取り組む事業数（延べ）	3	6	8	9	件	政策推進課	１６．「空飛ぶクルマ」の発着場整備
各年度の実績		5	8			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 市主催・共催のイベントや、市内大学の学園祭、万博の機運醸成に向けたイベント等に出展し社会受容性向上に寄与した。また大阪工業大学の学生が空飛ぶクルマを活用したユースケースやビジネスモデルの検討を進めた。								
【施策指標の分析 R7】 大阪・関西万博開催の年でもあり、少しずつではあるが、企業から声をかけていただける機会も増え、具体的な話をすることができた。								

施策シート【19_02】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
枚方まつりの来場者数	枚方まつりの来場者数	103,000	106,000	109,000	112,000	人	観光交流課	１９．枚方フェスティバル協議会の支援
各年度の実績		70,000	80,000			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 初の秋開催となり、夏季開催に比べ他行事と重複したことなどから来場者数が伸び悩んだ。								
【施策指標の分析 R7】 ２日間とも雨模様での開催となり集客伸び悩んだが、新たに枚方まつりのポスター周知に取り組むなどの効果で前年度を上回る集客があった。								

施策シート【19_02】ー 施策指標

総合政策部、市駅周辺まち活性化部、観光にぎわい部

施策名称	観光施策の推進

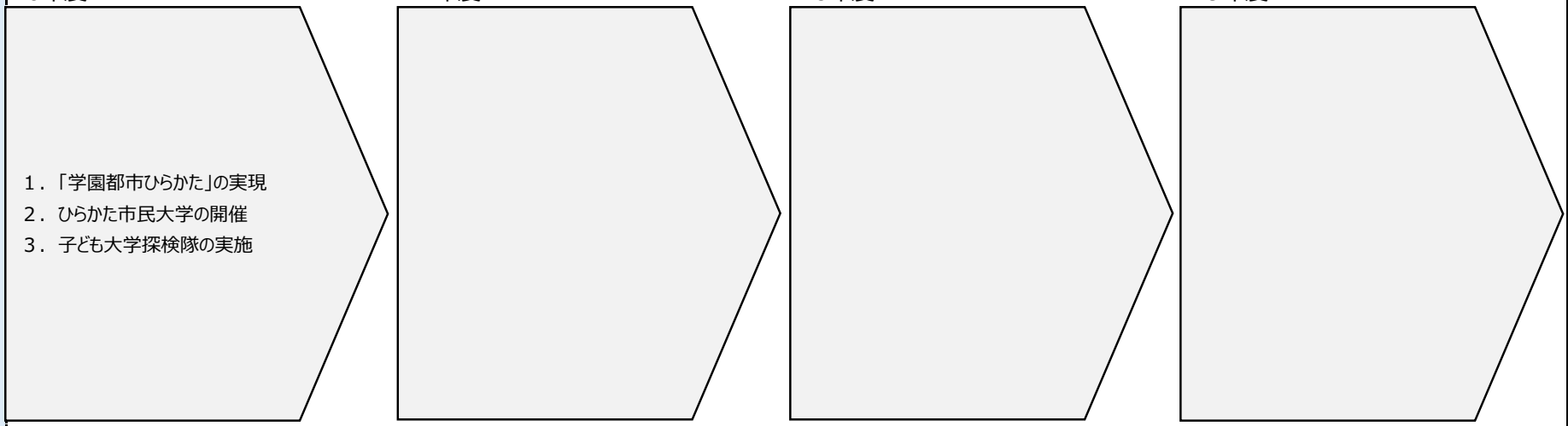
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
にぎわい空間創出事業来場者数	ニッペパーク岡東中央等において、市民団体などが開催する各種イベントが効果的に行われるように、会場及び備品の貸し出し、広報などの支援を行う「にぎわい空間創出事業」における来場者数	12,824	34,317	34,317	34,317	人	観光交流課	２０．にぎわい空間の創出
各年度の実績		50,670	41,252			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 実施イベント数の増加により来場者数も増加した。								
【施策指標の分析 R7】 イベント毎の集客規模にばらつきがあり、昨年度を下回ったが、ほぼ目標値との数値となった。								

施策シート【19_03】

総合政策部、観光にぎわい部

施策名称	**若者の交流機会の創出**	
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている
概要		大学の知的資源をまちづくりに活かすため、大学施設を利用した学習・交流機会の充実や産学公の連携。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【19_03】ー 具体的な取り組み

総合政策部、観光にぎわい部

施策名称	若者の交流機会の創出

１．「学園都市ひらかた」の実現

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
「学園都市ひらかた」の実現に向けて、枚方市と枚方市内の5大学で構成した協議会・幹事会・事業部会を開催し、調査・研究及び連絡調整を実施。	・協議会・幹事会を開催 ・調査・研究及び連絡調整を実施	継続	継続	継続	政策推進課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
学園都市ひらかた推進協議会の事業等に、より多くの市民が参加できるよう、更なる情報発信を行うなど、各大学との連携を強化していく。	幹事会・協議会を開催した他、市及び大学の取組について、連絡調整を行うとともに「ひらかた市民大学」や大学体験事業等における広報周知や大学との取り組みについて共同でプレスリリースを行うなどの連携を図った。	幹事会・協議会では市及び大学の取組についての連絡調整を行うとともに、今年度は各大学幹事を集めた「意見交換会」を実施。密な情報共有や進捗報告等を行った。また、大学体験事業等における周知連携なども引き続き実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_03】－ 具体的な取り組み

総合政策部、観光にぎわい部

施策名称	若者の交流機会の創出

２．ひらかた市民大学の開催

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市と大学が連携し、市民向け講座を開催。専門的な知識・情報を提供する講座を各大学で実施。	大学と連携し、事業を実施	継続	継続	継続	文化生涯学習課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
今後も大学と連携し、専門的な情報を提供する市民向けの講座を実施する。	市内5大学と連携して、ひらかた市民大学を実施した。(参加者231人) ●大阪工業大学「生成AIを活用した英語学習」 ●大阪歯科大学「インプラント治療最前線！」 ●関西医科大学「加齢と眼疾患について、糖尿病を正しく知り、予防と治療の工夫をしよう」 ●関西外国語大学「林芙美子『浮雲』を読む」 ●摂南大学「高齢者の「うつ」を知り、対応策を皆さんの状態から一緒に学びましょう！」	市内5大学と連携して、ひらかた市民大学を実施した。(参加者230人) ●関西医科大学「今こそ考えよう―震災から生きのびるための備え―」54人 ●摂南大学「ストレスとうまく付き合おう」23人 ●関西外国語大学「骸骨の祝祭―メキシコ「死者の日」の全て」61人 ●大阪歯科大学「フレイル・認知症予防の最前線！―大学のフレイル予防教室 だからできること：多職種包括的アプローチについて ―」60人 ●大阪工業大学「生成AIを活用した英語学習」32人			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【19_03】－ 具体的な取り組み

総合政策部、観光にぎわい部

施策名称	若者の交流機会の創出

３．子ども大学探検隊の実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
学園都市ひらかた推進協議会事業の一環として、市と大学が連携し、市内大学の施設・設備やクラブ活動等への参加体験を実施。	大学と連携し、事業を実施	継続	継続	継続	文化生涯学習課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
今後も大学と連携し、子ども向けの参加・体験型の講座等を実施する。	市内5大学と連携して、子ども大学探検隊を実施した。(参加者215人) ●大阪工業大学「Oh！ＩＴカーニバル(研究室発表)」 ●大阪歯科大学「口の中について学ぼう！歯科大学生体験ツアー」 ●関西医科大学「今の医療にふれる体験実習」 ●関西外国語大学「関西外大で「英語を使ってみよう！試してみよう！」 ●摂南大学「農業で働くキカイたち + 果実の甘さをはかろう」	市内5大学と連携して、子ども大学探検隊を実施した。(参加者201人) ●大阪工業大学「Oh！ＩＴカーニバル(研究室発表)」116人 ●大阪歯科大学「口の中について学ぼう！歯科大学生体験ツアー」24人 ●関西医科大学「からだとこころのひみつ基地探検隊」16人 ●関西外国語大学「関西外大で「英語を使ってみよう！試してみよう！ガイダイ・ワールドへ・いらっしゃい！」」30人 ●摂南大学「農業で働くキカイたち + 果実の甘さをはかろう」15人			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【19_03】－ 施策指標

総合政策部、観光にぎわい部

施策名称	若者の交流機会の創出

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
市と大学との連携事業に参加した学生数	イベントの開催など市と市内大学との連携事業に参加した学生数	1,800	1,900	2,000	2,100	人	政策推進課	1．「学園都市ひらかた」の実現
各年度の実績		1,493	1,349			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 天候等の影響で一部事業が中止となり目標には届かなかったが、事業数は前年より増加しており、市と大学との連携機会は拡大している。							※当該データの取得が令和８年度5月頃になる見込み	
【施策指標の分析 R7】 事業数は令和4年度から令和6年度にかけて7件と年々増加傾向にあり、参加人数も増加が見込まれる。データ確定後に改めて詳細な分析を記載する予定である。								

施策シート【19_03】ー 施策指標

総合政策部、観光にぎわい部

施策名称	若者の交流機会の創出

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ひらかた市民大学の参加者数	ひらかた市民大学に参加した人数	200	200	200	200	人	文化生涯学習課	2．ひらかた市民大学開催事業
各年度の実績		231	230			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 事業当日が荒天だったことにより、申込に対する参加率が少ない事業もあったが、他の事業での参加者数が多かったことにより目標値に達した。							※目標値は5大学×40人の200人であるが、定員は各大学によって異なる。	
【施策指標の分析 R7】 昨年度とほど同数の参加があり目標値を達成した。							※目標値は5大学×40人の200人であるが、定員は各大学によって異なる。	

施策シート【19_03】－ 施策指標

総合政策部、観光にぎわい部

施策名称	若者の交流機会の創出

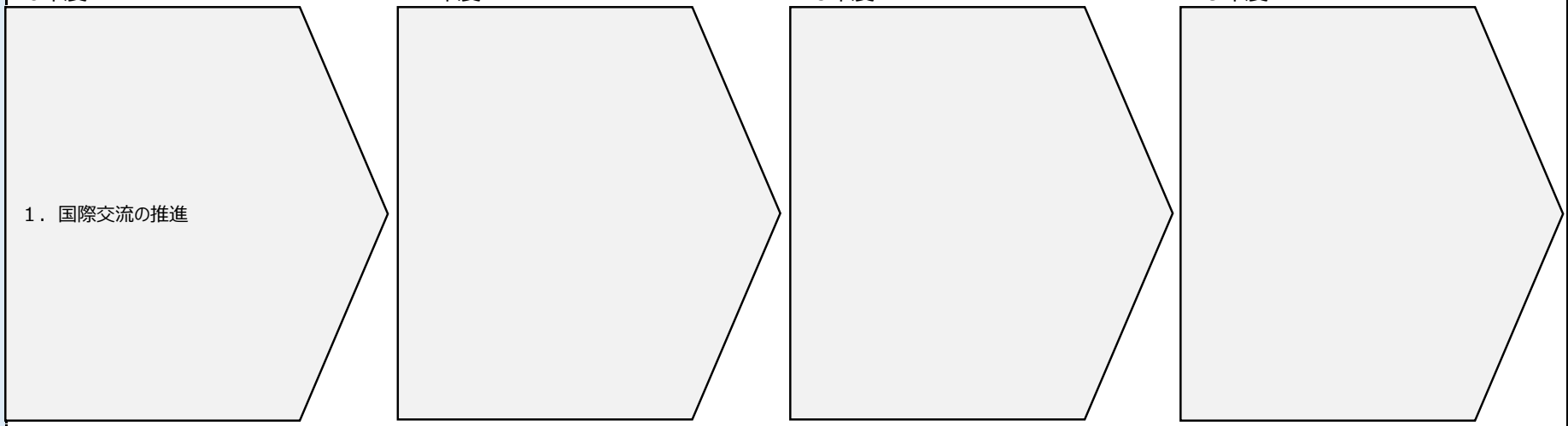
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
子ども大学探検隊の参加者数	子ども大学探検隊に参加した人数	250	250	250	250	人	文化生涯学習課	3．子ども大学探検隊の実施
各年度の実績		215	201			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 各大学ごとに定員が異なるため目標値には達しなかったが、それぞれ定員を超える参加申込があったことから、施策としての目標は達している。							※目標値は5大学×50人の250人であるが、定員は各大学によって異なる。	
【施策指標の分析 R7】 目標値には達成しなかったが、大阪工大以外の事前申込み制をとった大学はすべて定員を超える申込みがあった。目標達成のためには大阪工大への集客が課題。							※目標値は5大学×50人の250人であるが、定員は各大学によって異なる。	

施策シート【19_04】

観光にぎわい部

施策名称	**国際化施策の推進**	
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち
めざす姿（主観的満足度）		市の観光資源が生かされ、人々の交流が盛んに行われている
概要	国際交流活動を推進し、多文化共創に向けた異文化への理解を図るとともに、市内の国際化に向けて取り組む。	

計画期間中の実施予定時期



施策シート【19_04】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	国際化施策の推進

１．国際交流の推進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
海外友好都市との交流等、国際交流推進に係る事業を実施。	海外友好都市との交流等、国際交流推進に係る事業を実施及び拡充の検討をしていく	拡充	継続	継続	観光交流課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
交流の在り方や訪問内容を見直し、継続的かつ効果的な交流が図れるように調整を行う。	長寧区及び霊岩郡の行政訪問団を受け入れるとともに、長寧区児童書画展開催した。また、ローガン市と交流事業の再開に向けた調整を行うほか、アメリカからの中学生への体験学習の支援を行った。	ローガン市と都市提携30周年を記念した相互訪問を行い、産業・教育の分野での視察・交流を行った。また、長寧区児童書画展などの定例行事の対応を行った。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【19_04】ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	国際化施策の推進

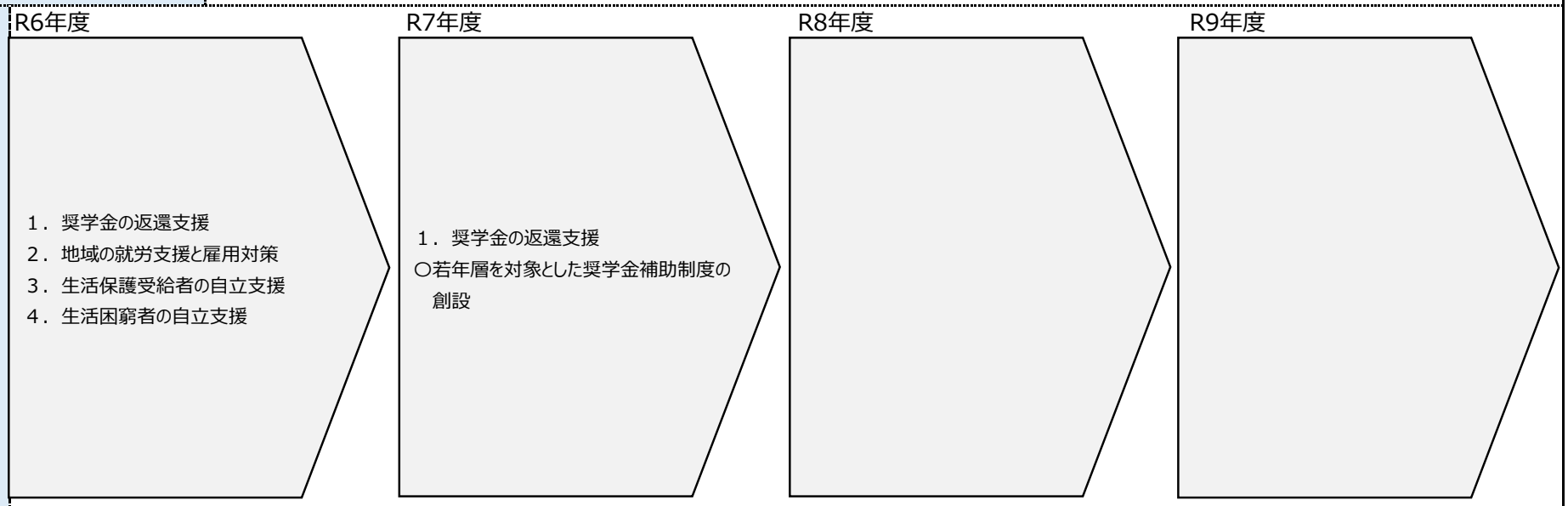
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
海外友好都市との交流をはじめとする国際交流事業の参加人数	交流事業の参加人数	1,034	1,467	1,610	1,761	人	観光交流課	1．国際交流の推進
各年度の実績		1,326	662			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 長寧区書画展の参加者数が増加することで目標値を上回った。								
【施策指標の分析 R7】 取り組み内容は拡充できたものの、施策指標の交流事業の参加人数については、長寧区書画展の参加人数が主に含まれており、書画展のR7の開催場所変更に伴う参加者数減少が指標の減少に影響している。								

施策シート【20_01】

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	**雇用対策の充実**	
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等	20.いきいきと働くことのできるまち
めざす姿（主観的満足度）		市内での産業活動が活発に行われている
概要		就労困難者に対する就労支援、新たな雇用機会の創出を図る。

計画期間中の実施予定時期



施策シート【20_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実

１．奨学金の返還支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
就職者の経済的な負担の軽減と安定した就労の支援、中小企業の人材確保に資することを目的に、奨学金返還を支援。	就職氷河期世代を対象とした奨学金補助の継続 ・若年層を対象とした奨学金補助制度の創設に向けた準備	若年層を対象とした奨学金補助制度の創設	継続	若年層を対象とした奨学金補助制度の継続および効果検証と見直し	商工振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
令和７年度に創設した若年者奨学金返還支援補助金について、目標値を大きく下回る申請件数であった。今後、さらに認知度を高め、利用促進につなげるとともに、効果検証を行い、令和９年度以降の効果的な事業実施に向けた検討を進める。	・就職氷河期世代を対象とした奨学金返還支援補助金を1件交付した。 ・令和７年度からの実施に向け、若年層を対象とした奨学金返還支援補助制度の制度設計を行った。	若年層を対象とした若年者奨学金返還支援補助金を創設し、10月より申請受付を開始し、補助金を83件交付した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【20_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実

２．地域の就労支援と雇用対策

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
①様々な就労阻害要因による就労困難者へ就労を支援 ②地域産業の発展と安定的な雇用環境の確保に向けて、企業の求人開拓・就職機会を提供 ③製造業を主とした市内中小企業の人材確保と若年者の安定雇用を図り、地域経済を活性化。	・地域就労支援センターにおける相談事業等の就労への支援 ・合同企業就職面接会を通じ就労機会を提供	継続	継続	継続	商工振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
①相談者の置かれている状況が複雑化しているため、相談者(就労困難者)の状況に応じた支援が必要である。引き続き、地域の就労支援機関や重層的支援体制整備事業と連携し対象者を支援していく。 ②市内企業においては引き続き人材の確保が課題となっている。企業の雇用確保および求職者への就職機会の提供に向けて、双方に対し面接会等支援を行っていく。 ③現在の求人市場において市内中小企業における若年層の雇用がますます難しくなっている。引き続き、若年者を対象とした面接会の開催や就労意欲向上のための事業を実施していく。	・相談者の状況に応じて地域の就労支援機関や重層的支援体制整備事業と連携し対象者を支援した。 ・就職面接会６回（参加者数134人、内採用者数29人）や若年者向け合同企業就職面接会等８回（参加者数129人、内採用者数14人）を開催。参加者数が少なかったため、効果的な事業実施に向けて見直しの上取り組んでいく。	・相談者の状況に応じて地域の就労支援機関や重層的支援体制整備事業と連携し対象者を支援した。 ・就職面接会4回（参加者数103人、内採用者数15人）や若年者向け合同企業就職面接会等5回（参加者数150人、内採用者数14人）を開催した。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【20_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実

３．生活保護受給者の自立支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
主に稼働年齢層にある稼働能力を有する保護受給者及び保護申請者に対し、就職による早期自立が図れるよう、就労意欲を喚起し、求職活動の支援、就職後の定着支援等を実施。	・就労支援プログラムの参加者に対する求職活動の支援 （就労支援員によるカウンセリングや就労に向けた意欲喚起、履歴書・職務経歴書の作成、面接等のトレーニング、求人情報の提供やハローワークへの同行など） ・自立への援助として、就労開始後に定着支援のカウンセリングを実施	継続	継続	継続	生活福祉課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
就労支援プログラムの利用者選定等において課題があり、令和８年度に向けては、事業者と連携し、稼働能力を有しながら活かすことができていない層への参加を促すなどをすることで、プログラムの利用者や、就労決定者の増加に向けて取り組みを進める。	事業利用者240人に対してカウンセリング及び、意欲喚起支援を1551回、就労決定者141人の内、定着支援に結び付いた132人に対して面談・電話及びメール等で計827回の定着支援を実施した。	事業利用者155人に対して就労前カウンセリング及び、意欲喚起支援を1170回、就労決定者78人の内、定着支援に結び付いた68人に対して面談・電話及びメール等で計493回の定着支援を実施した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【20_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実

４．生活困窮者の自立支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
＜生活困窮者自立支援事業＞ 生活困窮者に係る相談を受け、関係機関と連携し、継続的・寄り添い型の対応を通じて、自立に向けた包括的な支援を実施。	・自立相談支援センターにおいて、生活困窮者からの相談及び自立に向けた継続的・寄り添い型の支援を実施 ・生活困窮者が抱える課題の評価・分析を行い、自立に向けたプランを作成 ・ハローワーク枚方や枚方市社会福祉協議会等の関係機関と連携しながら、就労支援等の自立に向けた支援を実施	継続	継続	継続	健康福祉総合相談課、生活福祉課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き取り組みを進め、生活困窮者等の自立支援につとめていく	・自立相談支援センターにおける相談件数2,273件・自立プラン作成件数100件 ・生活保護受給者及び生活困窮者のうち就労支援事業及び「就労支援ひらかた（ハローワークコーナー）」において実際に就労に結びついた人数185件	・自立相談支援センターにおける相談件数2,346件・自立プラン作成件数92件 ・生活保護受給者及び生活困窮者のうち就労支援事業及び「就労支援ひらかた（ハローワークコーナー）」において実際に就労に結びついた人数108件			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【20_01】－ 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
奨学金返還支援補助金の交付件数	若年層を対象とした奨学金の返還を支援する補助金の交付件数	－	360	445	445	件	商工振興課	1．奨学金の返還支援
各年度の実績		－	83			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和７年度から事業を実施するため、令和６年度については交付実績なし。								
【施策指標の分析 R7】 事業開始初年度であることから人口統計等の統計情報を元に目標値を設定したが、大きく下回る実績となった。今後、さらなる利用促進につなげるため、市内事業者や関係機関等と連携し情報発信に取り組む。								
補助金交付者の企業への定着率（%）	継続して就労している人数／交付者	－	－	95	95	%	商工振興課	1．奨学金の返還支援
各年度の実績		－	－			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和７年度から事業を実施するため、令和６年度については交付実績なし。								
【施策指標の分析 R7】 令和７年度から事業を開始した。施策指標による検証は事業2年目となる令和8年度から行う。								

施策シート【20_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数	地域就労支援センター相談者等のうち就労に結びついた人数	65	67	69	71	人	商工振興課	2．地域の就労支援と雇用対策
各年度の実績		58	61			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 雇用状況が厳しいため目標数値には達しなかったものの、求職者の状況・属性に応じた就労支援を行ったほか、年度内に10回以上面接会を開催するなど、企業の雇用確保や求職者への就職機会の提供に向けた取組を実施した。								
【施策指標の分析 R7】 昨年度を上回る結果となったが、人手不足を背景に市内中小企業の採用環境が厳しさを増していることもあり、目標数値には達しなかった								

施策シート【20_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
就労決定し定着支援を受けた者の内、就労定着３カ月以上した人数及び就労自立し保護廃止となった人数の合計を割った値（３カ月以上定着率）	就労決定し定着支援を受けた者の内、就労定着３カ月以上した人数及び就労自立し保護廃止となった人数の合計を割った値（３カ月以上定着率）	53	53	53	53	%	生活福祉課	３．生活保護受給者の自立支援
各年度の実績		53	58.8			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 就労定着支援に力を入れ、まずは就職決定後の初めの１カ月に重点的に支援をする事で早期退職を減らす事ができ目標達成できた。今後も就労支援員と連携しながら定着支援に取り組んでいく。								
【施策指標の分析 R7】 昨年より実数は減少したものの、ほぼ目標通りの実績となった。就労支援員と連携しながら、引き続き定着支援に取り組んでいく。								

施策シート【20_01】ー 施策指標

観光にぎわい部、健康福祉部、福祉事務所

施策名称	雇用対策の充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
就労支援対象者（生活保護受給者・生活困窮者）のうち就労に結びついた人数	生活保護受給者及び生活困窮者のうち就労支援事業及び「就労支援ひらかた（ハローワークコーナー）」において実際に就労に結びついた人数	190	200	210	220	人	健康福祉総合相談課、生活福祉課	3．生活保護受給者の自立支援 4．生活困窮者の自立支援
各年度の実績		185	112			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 生活困窮者等の自立支援に向けて、継続的・寄り添い型の対応を実施し、目標を達成することができた。今後も引き続き取り組みを進めていく。								
【施策指標の分析 R7】 前年度に比べて就労支援対象者数が大幅に減少していることが主な原因に挙げられる。今後も引き続き取り組みを進めていく。								

施策シート【21_01】

観光にぎわい部

施策名称	**市内産業の活性化**	
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等	21.地域産業が活発に展開されるまち
めざす姿（主観的満足度）		市内での産業活動が活発に行われている
概要	新たな事業展開に取り組める環境づくりや商店街の活性化等、市内産業の振興に取り組むとともに、企業誘致の促進を図る。	

計画期間中の実施予定時期

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1．ふるさと納税を活用した商品開発支援 2．地域一体型のオープンファクトリーの開催 3．市外企業の誘致と市内企業の移転防止 4．工場立地法に係る緑地規制基準の緩和 5．地域産業基盤の強化 6．中小企業の魅力発信支援 7．中小企業の設備導入等支援 8．商店街等の活性化促進	3．市外企業の誘致と市内企業の移転防止 ○国の産業用地データベースを活用した情報発信 4．工場立地法に係る緑地規制基準の緩和 ○基準の見直し・条例制定	1．ふるさと納税を活用した商品開発支援 ○新商品開発支援補助制度の創設	

施策シート【21_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化

１．ふるさと納税を活用した商品開発支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
地域産業の活性化を図るため、新商品開発を支援する新たな補助制度を創設し、ものづくり企業の商品開発を支援する。	・産業振興対策審議会での審議 ・調査、研究	新商品開発支援補助制度の創設	・商品開発を希望する事業者への専門的支援 ・クラウドファンディング型ふるさと納税による資金支援	継続	商工振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
泉佐野市の＃ふるさと納税3.0を参考に、ふるさと納税を活用した商品開発支援制度を令和８年度に創設、適宜、改善・見直しを図りながら制度の運用を図っていく。	・産業振興対策審議会に意見聴取し、答申を得た。 ・制度設計のための調査や関係課との調整を行った。	枚方市商品開発支援事業の制度設計を行った。関係団体や事業者に周知し、事業者向けの制度説明会を開催した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【21_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化

２．地域一体型のオープンファクトリーの開催

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
まちの魅力発信や地域の活性化につなげるため、2025年の大阪・関西万博を見据え、ものづくり企業の魅力を伝える機会として、オープンファクトリーを開催。	・オープンファクトリー事業において、参加企業の増加や対象層を求職者向けにも拡大 ・外国語版の案内や動画配信等、ビジネスマッチングにつながるようPRを強化	継続	継続	継続	商工振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
ものづくり企業の魅力を伝える機会として、オープンファクトリーを開催する。また、大阪・関西万博の開催を契機に展開された市内企業と海外とのビジネスマッチングの取組を引き続き推進する。	・くずはモールでオープンファクトリーを8月17・18日(1,200人)・11月９・10日(2,200人)に開催した。８月26日には求職者向けのリクルート版イベントを実施。また、２月８・15・22日（270人）にリアル工場見学＆ワークショップイベントを開催した。 ・大阪ウィーク出展に向けて調整を進めた。 ・11月７日にインドネシア総領事館が市を訪問。市内企業等の見学ツアーを実施した。	・くずはモールや各企業の工場を会場として、8月・10月・11月に計6日間、オープンファクトリー（ワークショップ、工場見学等）を開催した（延べ5,683人） ・大阪・関西万博の催事「大阪ウィーク」に不器用ファクトリーが出展し、共創体験型ワークショップ「へそバランサー」や「コラボマスターズ」体験を通じて枚方市のものづくりの発信、市への誘客を図った。（7月29日・30日、9月13日～15日 約2,700人） ・大阪・関西万博を契機に、インドネシア政府主催のビジネスフォーラムへの参加や、オーストラリア クイーンズランド州と市内企業とのビジネスミーティングの開催に取り組んだ。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【21_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化

３．市外企業の誘致と市内企業の移転防止

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
産業用地にかかる企業ニーズ、用地情報を共有する仕組みづくり。操業環境の整備に向けた支援策の検討。	【移転・誘致】 ・産業用地の情報発信及び体制整備に向けた調整 ・三者連携協定を活用した産業用地の情報共有やデータベース化の仕組みを検討 ・関係機関と協議しながら、課題整理を行う	国の産業用地データベースを活用した情報発信	継続	継続	商工振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
登録用地の情報更新や精度向上を図るとともに、企業ニーズの把握に努め、より効果的なマッチングにつなげる。	産業用地にかかる企業ニーズ、用地情報を共有する仕組みとして、経済産業省が令和7年度から事業開始する「産業用地マッチング事業」を本市が活用できるか情報収集を実施し、調査研究を行った。	経済産業省の「産業用地マッチング事業」の活用を開始し、枚方市の産業用地の情報発信を開始した。			
年度ごとの達成状況	○	◎			

施策シート【21_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化

４．工場立地法に係る緑地規制基準の緩和

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
ものづくり企業の操業環境を整備するため、工場立地法に係る、緑地規制基準を緩和。	市内工場の緑地に関する調査を実施	緑地規制基準の見直し・条例制定	・制度の周知 ・適正な協議及び効率的に事務を執行	継続	商工振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
一定規模以上の工場では、工場立地法における規制により、事業拡大や老朽化対策への設備投資に制約があるなどの課題がある。市内企業の再投資の促進と、周辺環境の質の維持の両方を勘案した操業環境の整備を図っていく。	・他市の制度運用実態や課題を調査。 ・市内の対象工場に対して、アンケート調査やヒアリングを実施し、調査報告書をまとめた。 ・産業振興対策審議会に意見聴取し、答申を得た。	・「枚方市工場立地法地域準則条例」を制定し、工場立地法に基づく緑地等の整備に係る基準の見直しを行った。 ・条例の対象工場に向けて、工場の周辺環境に配慮した取組みへの指針となるガイドラインを策定した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【21_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化

５．地域産業基盤の強化

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
企業等の経営基盤の強化及び新たな雇用の創出につなげるため、地域産業基盤強化奨励金を交付することにより、企業等の設備投資を促進。	引き続き市内事業者へ周知を図り、申請に対し適正に補助金を交付	継続	継続	継続	商工振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き、事前協議に係る計画書等書類の適切な受理および認定審査会の円滑な運営を行い、交付に係る事務を適正に行う。	経営基盤強化に向けた新たな設備投資を行う事業計画を2件認定した。また、奨励金を3件（総額15,800千円）交付した。	経営基盤強化に向けた新たな設備投資を行う事業計画を2件認定した。また、奨励金を5件（総額14,458千円）交付した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【21_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化

６．中小企業の魅力発信支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市内企業の優れた技術や製品を市内外に広く発信するべく、販路開拓やビジネスチャンスの拡大を目的に開催する展示商談会等に参加する市内中小企業者を支援。	支援を継続しつつ、社会情勢の変化に応じて、適宜支援対象や支援内容の見直しを検討	継続	継続	継続	商工振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
販路開拓やビジネスチャンスの拡大のため、意欲ある事業者が展示商談会に参加できるよう、引き続き効果的な支援内容を検討し、制度活用の増加を促進する。	市からの情報発信だけでなく、委託先の北大阪商工会議所でのHP・SNS配信も行い、事業者への周知を強化した。	19社に対し、販路拡大に向けた出展費用に関する財政支援や各種支援情報の提供等を行った。市と委託先の北大阪商工会議所がそれぞれHP・SNS配信等で周知を図った。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【21_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化

７．中小企業の設備導入等支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
騒音・振動・臭気を低減する設備の導入等を行う中小企業者を対象に、対象経費の２分の１を補助する。（上限5,000,000円） 令和５年４月に要綱改正を行い、予防的措置にも活用できるよう補助金の対象を拡充したことから関係団体等への周知を図り、交付件数の増加に努める。	関係団体等への周知	継続	継続	継続	商工振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
今後も対象地域で操業する事業者や関係団体等に対して、具体的な活用事例を示して周知を図る。	対象地域において工場等を操業し、近隣住民等から苦情を受けた事業者14社に対し周知を行った。	対象地域のうち、特に住工混在が生じているエリアに立地する事業者55社に対し周知を行った。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【21_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化

８．商店街等の活性化促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・市内の商店街の活性化に関する事業を主体的に企画し、実施する商業団体に対して補助金を交付することにより、商店街等の活性化を促進。 ・市内の各商店街、ひいては地域産業の活性化を目指すため、商店街等活性化促進事業補助金の補助対象を拡大。	・支援を継続しつつ、社会情勢の変化に応じて、適宜支援対象や支援内容の見直しを検討する。 ・商店街等活性化促進事業補助金の補助対象団体の拡充	継続	継続	継続	商工振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
人口減少に伴う国内市場の縮小に加え、大型店との競合などにより、商店街を取り巻く環境は厳しい状況となっているが、積極的な補助金の活用を図る商店街の伴走支援を行い、商店街等の活性化を促進する。	・補助対象を商店街だけでなく、商店街等の活性化に資する活動実績を有する市内団体に拡充した。 ・補助制度の説明会を実施し、制度周知を図るとともに、補助金の活用に前向きな商店街に対し伴走支援を行ったことから補助件数の増加につながった。	活性化のために補助金の積極的な活用を図る商店街への伴走支援を行い、15件の補助対象事業が実施された。			
年度ごとの達成状況	○	○			

施策シート【21_01】ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、市内事業者の商品開発を新たに支援した件数	ふるさと納税を活用したクラウドファンディングにより、市内事業者の商品開発を新たに支援した件数	–	–	3	3	件	商工振興課	1．ふるさと納税を活用した商品開発支援
各年度の実績		–	–			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 産業振興対策審議会で、ふるさと納税を活用した商品開発支援について意見聴取し、答申を得た。令和8年度創設予定のため、令和7年度に制度設計を行う。令和６年度は実績なし。								
【施策指標の分析 R7】 令和７年度は、枚方市商品開発支援事業の制度設計を行い、関係団体や事業者に周知し、事業者向けの制度説明会を開催した。令和8年度から事業者への支援を開始するため、令和7年度の実績はなし。								

施策シート【21_01】ー 施策指標

施策名称	市内産業の活性化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
オープンファクトリーの参加事業者数（累計）	ものづくり企業の魅力を伝える機会をはじめ、まちの魅力発信や地域の活性化につながるオープンファクトリーに参加する事業者数（累計）	15	18	21	24	者	商工振興課	２．地域一体型のオープンファクトリーの開催
各年度の実績		17	18			者	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和６年度は、新たに４社が参加し、合計17社がオープンファクトリーに参加した。令和7年度は、大阪・関西万博の取組に加え、地域一体型のオープンファクトリーを開催するため、新たな参加企業の参加を拡充する。								
【施策指標の分析 R7】 令和７年度は、新たに１社が参加し、合計18社がオープンファクトリーに参加した。								

施策シート【21_01】ー 施策指標

施策名称	市内産業の活性化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
産業用地のデータベースへの登録件数	産業用地にかかる企業ニーズ・用地情報を共有するデータベースへ新たに登録した件数（累計）	0	4	4	4	件	商工振興課	３．市外企業の誘致と市内企業の移転防止
各年度の実績		–	4			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 経済産業省が令和7年度から事業開始する「産業用地マッチング事業」の情報収集を行った。令和7年度は当該事業を活用する。								
【施策指標の分析 R7】 茄子作地区（準工業地域）・茄子作地区（工業地域）等の４箇所を登録した。 今後も市内の産業用地の情報を収集する中で登録と情報発信を行っていく。								

施策シート【21_01】ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域産業基盤強化奨励金を受けて、新規立地及び設備投資した件数（累計）	地域産業基盤強化奨励金制度の認定を受けて、市内の産業集積地域において製造業事業者が新規立地や設備投資を行った件数 （累計）	34	36	38	40	件	商工振興課	5．地域産業基盤の強化
各年度の実績		34	36			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 見込みどおり認定事業がそれぞれ開始された。引き続き、事業計画の認定および奨励金交付に係る事務を適正に行っていく。								
【施策指標の分析 R7】 見込みどおり認定事業がそれぞれ開始された。引き続き、事業計画の認定および奨励金交付に係る事務を適正に行っていく。								

施策シート【21_01】ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	市内産業の活性化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
市内企業が市の支援を受けて各種展示会の出展に取り組んだ件数	市内企業が市の支援を受けて各種展示会に出展し販売拡大に取り組んだ件数	18	23	24	25	件	商工振興課	6．中小企業の魅力発信支援
各年度の実績		23	19			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 引き続き意欲ある事業者が様々な展示商談会に参加できるよう、効果的な支援内容を検討し、制度活用の増加を促進する。								
【施策指標の分析 R7】 引き続き意欲ある事業者が様々な展示商談会に参加できるよう、効果的な支援内容を検討し、制度活用の増加を促進する。								

施策シート【21_01】ー 施策指標

施策名称	市内産業の活性化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
住工共生環境対策支援事業補助金の交付件数	住工共生環境対策支援事業補助金の交付件数	1	1	1	1	件	商工振興課	7．中小企業の設備導入等支援
各年度の実績		–	0			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 ３年前に交付決定を行った事業者がいないため、操業を継続している事業者の割合を算出することができない。今後も対象事業者や関係団体に対して周知を図り、周辺住民の生活環境の保全に向けて取り組む事業者に対して補助金を交付する。								
【施策指標の分析 R7】 市内の工業系用途地域のうち、特に住工混在が生じているエリアに立地する事業者に対し周知を行ったが、補助金の活用にはつながらなかった。今後、具体的な活用事例を提示し、対象となる企業に届くよう効果的な周知を行うとともに、環境部と連携を図り、周辺住民の生活環境の保全を図るための環境対策に取り組む事業者に対して補助金を交付する。								

施策シート【21_01】ー 施策指標

施策名称	市内産業の活性化

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
商店街が市の支援を受けて活性化に取り組んだ件数	商店街が市の支援制度を活用して活性化に取り組んだ件数	12	13	14	15	件	商工振興課	8．商店街等の活性化促進
各年度の実績		15	15			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 市の支援制度を活用して積極的な活性化への取組みを図る商店街について伴走支援を行った結果、目標数値を上回った。								
【施策指標の分析 R7】 市の支援制度を活用して積極的な活性化への取組みを図る商店街について伴走支援を行った結果、目標数値を上回った。								
市内の各商店街、ひいては地域産業の活性化を目指す補助対象団体数（累計）	市内の各商店街、ひいては地域産業の活性化を目指す補助対象団体数（累計）	13	14	15	16	事業者	商工振興課	8．商店街等の活性化促進
各年度の実績		13	13			事業者	備考	
【施策指標の分析 R6】 商店街の活性化への取組を担う人材の確保・育成に関しても伴走支援を行い、商店街、ひいては地域産業の活性化を図る。								
【施策指標の分析 R7】 商店街の活性化への取組を担う人材の確保・育成に関しても伴走支援を行い、商店街、ひいては地域産業の活性化を図る。								

施策シート【21_02】

観光にぎわい部

施策名称	**創業（起業）できる環境づくりの充実**	
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等	21.地域産業が活発に展開されるまち
めざす姿（主観的満足度）		市内での産業活動が活発に行われている
概要	創業・起業を希望する個人等が市内で独立創業できる環境づくりを進める。	

計画期間中の実施予定時期

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
1．創業・起業の支援 ○地域活性化支援センターのリニューアルオープン 2．新産業の創出	1．創業・起業の支援 ○創業希望者のニーズを把握 ○テイクオフ補助金制度の見直し		

施策シート【21_02】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	創業（起業）できる環境づくりの充実

１．創業・起業の支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
手厚いサポートのある関西一創業しやすい街枚方を目指して、地域活性化支援センターの利用環境の整備を図り、北大阪商工会議所等と連携しながら、創業を支援。	・地域活性化支援センターのリニューアルオープン ・事業承継セミナー開催	・創業希望者のニーズを把握した上で、テイクオフ補助金制度の見直し ・事業承継セミナー開催	継続	継続	商工振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
手厚いサポートのある関西一創業しやすい街枚方を目指すため、ひらっくをワンストップ窓口として、創業支援を継続する。関係機関と連携を図りながら、切れ目のない創業支援を実施する。また、テイクオフ補助金については、効果測定を行いながら事業を実施するとともに、創業希望者や創業初期の中小企業者のニーズ把握に努め、より効果的な事業実施に向けた検討を進める。	・４月に地域活性化支援センターをリニューアルオープンし、コワーキングスペース・シェアオフィスを新設した。 ・コワーキングスペースの新規登録者数507人、利用者総数2,769人。 ・４月９日～10月11日に子ども預かり保育の試行実施を行った。 ・市内関係機関で構成する創業支援事業連絡会において、創業に関する11事業を協力実施した。その中の１事業として事業承継セミナー（参加者18名）を開催した。 ・テイクオフ補助金の補助要件等の見直しに取り組んだ。	・テイクオフ補助金の補助対象の拡充や補助内容の見直しを行い、30事業者の支援を行った。また、これまでに市の創業支援を受けた事業者・創業希望者110者に対し、創業支援事業に係る調査を実施し、効果測定及びニーズ把握に向けた取組を進めた。 ・コワーキングスペースの新規登録者数295人、利用者総数3,262人。 ・市内関係機関で構成する創業支援事業連絡会において、創業に関する9事業を協力実施した。その中の１事業として事業承継セミナー（参加者14名）を開催した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【21_02】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	創業（起業）できる環境づくりの充実

２．新産業の創出

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
市や関係機関が伴走支援し、学びと実践の場を提供する若手起業家を対象としたプログラムを実施するなど、地域活性化支援センターにおいて新産業の創出を支援。	若手起業家支援事業「起業街道枚方塾」を引き続き実施	継続	継続	継続	商工振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
・意欲や発想はあるが、知識や経験が不足している若手起業家に学びと実践の場を提供し、市と関係機関が伴走支援することで、新産業創出に向けた支援を継続する。 ・新産業創出のため、地域活性化支援センターのシェアオフィスに入居する事業者を中心にコミュニティ形成につながるイベントを実施する。	・「起業街道枚方塾」定員の4者が参加。製造業の設備関連サプライヤー、インテリアデザイン・コーディネート、ゲームコンテンツ制作、WEBマーケティング支援など、様々な業種の若手起業家を支援した。 ・シェアオフィスに４事業者が入居。コミュニティ形成につながるイベントを36件（参加者数502人）開催した。	・「起業街道枚方塾」定員の4者が参加。アウトソーシング、飲食業、建築設計業、教育サービス業といった様々な業種の若手起業家を支援した。 ・シェアオフィスに４事業者が入居。コミュニティ形成につながるイベントを48件（参加者数500人）開催した。			
年度ごとの達成状況	◎	◎			

施策シート【21_02】ー 施策指標

施策名称	創業（起業）できる環境づくりの充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域活性化支援センターにおける経営相談の件数	地域活性化支援センターにおける経営相談の件数	360	365	370	375	人	商工振興課	1．創業・起業の支援
各年度の実績		446	638			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 地元の中小企業や個人事業主を対象に、経営に関する様々な相談を実施した。令和6年度は国の小規模事業者持続化補助金の申請要件に「特定創業支援等事業による支援を受けたこと」が含められたことで、特定創業支援等事業に係る相談件数が増加している。								
【施策指標の分析 R7】 Eラーニングによる特定創業支援等事業が本格的に稼働開始したことで相談者の利便性が高まったことから、特定創業支援等事業に係る相談件数が増加し、全体の件数を押し上げた。								
地域活性化支援センターの創業支援を受けて創業した件数	地域活性化支援センターの創業支援を受けて創業した件数	29	30	31	32	件	商工振興課	1．創業・起業の支援
各年度の実績		38	49			件	備考	
【施策指標の分析 R6】 67件の特定創業支援等事業証明書発行を行い、その内38件が令和6年度中に創業。その内17件については、創業実践塾、ビジネスカフェ、経営相談などより具体的な支援を実施。								
【施策指標の分析 R7】 令和７年度に特定創業支援等事業による支援を行った件数の内、38件が創業。また昨年度の同支援からも、令和7年度に４件の創業に至った。さらに、創業実践塾、インキュベートルーム、経営相談などの個別支援から9件が創業に至った。								

施策シート【21_02】－ 施策指標

施策名称	創業（起業）できる環境づくりの充実

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
テイクオフ補助金を受けた事業者の５年後の事業継続率	テイクオフ補助金を受けた事業者の５年後の事業継続率（%）	－	95	95	95	%	商工振興課	１．創業・起業の支援
各年度の実績		－	－			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 テイクオフ補助金を受けた事業者に対して、令和７年度に効果測定を行い、５年後生存率を調査するとともに、より効果的な事業実施に向けた検討を進める。								
【施策指標の分析 R7】 ５年前の令和2年度に交付決定を行った事業者がいないため、事業を継続している事業者の割合を算出することができない。								

施策シート【21_02】ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	創業（起業）できる環境づくりの充実

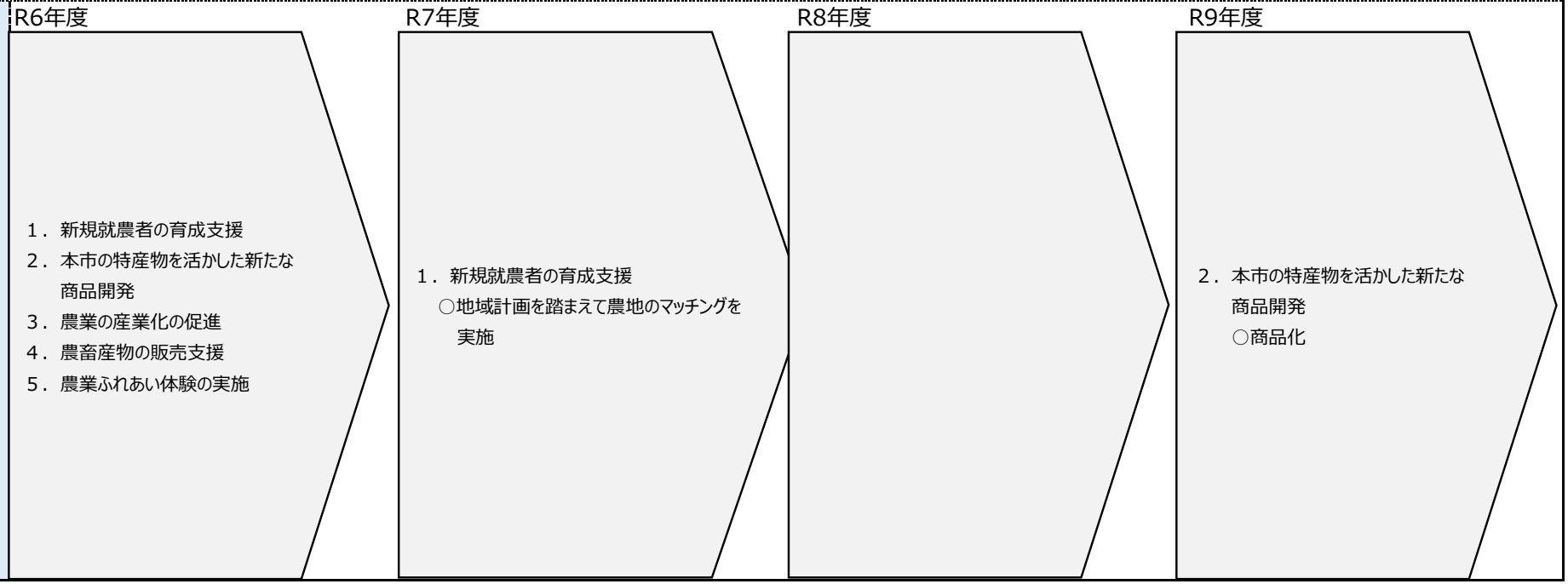
指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
地域活性化支援センターの若手起業家支援を受けて新産業を創出しようとする事業者のうち、事業着手した割合	地域活性化支援センターの若手起業家支援を受けて新産業を創出しようと事業着手した事業者の総数（定員4名）／地域活性化支援センターの若手起業家支援を受けて新産業を創出しようとする事業者の総数（4名）	100	100	100	100	%	商工振興課	2．新産業の創出
各年度の実績		100	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 各々の事業計画による新産業の創出に向けて、取組を進めている。受講者の中には、今年度からインキュベートルーム・シェアオフィスに入居して事業を進めている者もいる。								
【施策指標の分析 R7】 本事業での支援内容を踏まえ、全事業者において新産業の創出等に向けた取組が進んでいる。								
若手起業家支援事業「起業街道枚方塾」の終了から1年後の参加者満足度（アンケート）	前年度の若手起業家支援事業「起業街道枚方塾」参加者への追跡調査により測定した満足度（「満足」又は「概ね満足」と回答した件数/総回答件数）（%）	ー	75	75	75	%	商工振興課	2．新産業の創出
各年度の実績		ー	100			%	備考	
【施策指標の分析 R6】 —								
【施策指標の分析 R7】 事業終了後1年後の追跡調査により４名全員から、「満足」又は「概ね満足」との回答を得ており、本事業の効果が確認された。								

施策シート【22_01】

観光にぎわい部

施策名称	**農業の担い手の育成、就農促進**	
総合計画体系	基本目標等	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち
	施策目標等	22.農を守り、生かすまち
めざす姿（主観的満足度）		農地が保全されるなど、「農」を守り、生かされている
概要	農業の担い手を育成し、就農を促進する。	

計画期間中の実施予定時期



施策シート【22_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	農業の担い手の育成、就農促進

１．新規就農者の育成支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
研修機関と連携し、新規就農者の確保及び就農後の規模拡大に向けてソフト面で販路・農地のマッチングを支援。 将来発生が予想される遊休農地を効果的に活用するため、新規就農者を生かした地域計画を策定。	・就農相談窓口の設置・案内強化 ・研修機関と連携強化 ・SNS・パンフレットによる周知強化	地域計画を踏まえて農地のマッチングを実施	継続	継続	農業振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
引き続き、新規就農者の確保・育成に取り組む。研修事業については経営分野のメニューを追加する。	就農相談窓口を設置。また、研修機関と連携し、夏・冬野菜の栽培管理など、実践的な研修を行った。（杉農園：計37回、延べ11名、テロワール：計39回、延べ3名）	・研修機関と連携し、野菜の栽培管理など、実践的な研修を行った。（杉農園：計39回、延べ6名、テロワール：計39回、延べ2名） ・中間管理事業により農地の利用権の設定を行った（3名、延べ約4,200㎡）			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【22_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	農業の担い手の育成、就農促進

２．本市の特産物を活かした新たな商品開発

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・ひらかた万博ブランドとしての特産物を創出 ・６次産業化を活用した商品開発 ・摂南大学農学部と連携した取り組み強化	・ぶどう、カラマンシー、竹など特産物の研究 ・苗木購入	・試験栽培 ・商品化の検討	継続	商品化	農業振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
試験栽培の進捗確認と並行し、商品化に向けた検討を進める。東部地域の課題解決に向けたビジネス創出の伴走支援を行う。	カラマンシーの苗木を100本購入し、試験栽培を開始した。	カラマンシーの苗木を50本追加購入し、試験栽培を継続した。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【22_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	農業の担い手の育成、就農促進

３．農業の産業化の促進

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
・農薬の使用回数や化学肥料の使用量など一定基準を満たすエコ農産物の推進に向けた普及啓発 ・農地の保全・活用・ビジネス化の仕組みづくり	エコ農産物や地産地消の推進に向けた普及啓発	継続	・継続 ・民間企業との連携による農地の保全・活用・ビジネス化の仕組みづくりを検討 ・東部地区の農業振興を担う地元農業者の組織化の検討	継続	農業振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
（エコ農産物） 引き続き、新規就農者等のエコ農産物認定制度に対する理解促進を図る。 （農地の保全・活用・ビジネス化の仕組みづくり） 東部地区の豊かな自然環境の中で農や里山に親しみ、楽しむことができる拠点施設、民間事業者との連携により地域活性化と農業者の収益向上に繋がる施策を検討。	エコ農産物や地産地消の推進に向けた普及啓発を図った。令和6年7月申請は新規1名を含む19名、令和7年1月申請では25名のエコ農産物の申請を受け付けた。	エコ農産物や地産地消の推進に向けた普及啓発を図った。令和7年7月申請は18名、令和8年1月申請では24名がエコ農産物の申請を受け付けた。			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【22_01】－ 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	農業の担い手の育成、就農促進

４．農畜産物の販売支援

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
農業者団体が行う自家生産の農畜産物を市民へ直接対面販売する直販事業に助成	市内各所で「ふれあい朝市」を開催	継続	継続	継続	農業振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
ふれあい朝市等は各地域で好評だが、農業者の高齢化や農地の減少している。引き続き、実施団体の取り組みを支援する。	９団体が市内各所で「ふれあい朝市」など直販事業を実施した。直販実施回数：588回（実績見込み）	8団体が市内各所で「ふれあい朝市」など直販事業を実施した。直販実施回数：479回			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【22_01】ー 具体的な取り組み

観光にぎわい部

施策名称	農業の担い手の育成、就農促進

5. 農業ふれあい体験の実施

取り組みの内容	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	担当課
農家が収穫した農作物の収穫体験イベントを実施。 小学生を対象とした食農体験学習（農作物の植え付け、収穫、試食など）を実施	・農家が収穫した農作物の収穫体験イベントを実施 ・小学生を対象とした食農体験学習（農作物の植え付け、収穫、試食など）を実施	継続	継続	継続	農業振興課
取り組み課題・今後の方向性	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**取り組み結果**	**備考**
農業者の高齢化や農地の減少に伴い、開催の継続が難しくなっている。引き続き、農業委員会、ＪＡと連携して取り組んでいく。	農業ふれあいツアー：17回開催（1,334人参加） 食農体験：9校で実施（628人参加）	農業ふれあいツアー：15回開催（1,210人参加） 食農体験：8校で実施（534人参加）			
年度ごとの達成状況	◎	○			

施策シート【22_01】ー 施策指標

施策名称	農業の担い手の育成、就農促進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
新規就農者（研修修了生）の延べ耕作面積	新規就農者（研修修了生）が就農後に耕作する面積。	0	0.4	0.8	1.2	ha	農業振興課	1．新規就農者の育成支援
各年度の実績		0.3	0.72			ha	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和６年度に研修（ひらかた有機農産物アカデミー）を修了した2名が、約0.3haの農地を確保した。								
【施策指標の分析 R7】 令和6年度に研修（ひらかた有機農産物アカデミー）を修了した3名が、約0.42haの農地を確保した。なお、令和7年度の修了生は令和8年度に利用権を設定予定。								
認定農業者及び認定新規就農者（累計）	農業経営基盤強化促進法に基づき本市が認定した農業者数（意欲的な担い手である「認定農業者」と新規に農業を開始した「認定新規就農者」）	1	2	3	4	人	農業振興課	1．新規就農者の育成支援
各年度の実績		1	2			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 令和6年度に新たに認定した農業者数は１名（認定新規）。								
【施策指標の分析 R7】 令和7年度に新たに認定した農業者数は１名（認定新規）。								

施策シート【22_01】ー 施策指標

施策名称	農業の担い手の育成、就農促進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
エコ農産物認証人数	農薬の使用回数や化学肥料の使用量など一定基準を満たすエコ農産物認証を受けた人数	25	26	28	28	人	農業振興課	3．農業の産業化の促進
各年度の実績		1	28			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 認定新規就農者等に対して、エコ農産物の認証制度について周知することで理解促進を図っており、令和６年度は新規就農者１名が新たに認証を申請した。								
【施策指標の分析 R7】 認定新規就農者等に対して、エコ農産物の認証制度について周知することで理解促進を図っており、令和7年度は計28名の農業者が認証申請を行った。								
市内各所での「ふれあい朝市」実施団体への支援団体数	枚方市駅周辺をはじめとした市内各所での「ふれあい朝市」を開催する団体へ支援を行う団体数	9	9	10	10	団体	農業振興課	4．農畜産物の販売支援
各年度の実績		9	8			団体	備考	
【施策指標の分析 R6】 農業者の高齢化や農地の減少などの課題がある中で、当初の予定通り９団体においてふれあい朝市が開催された。								
【施策指標の分析 R7】 農業者の高齢化や農地の減少などの課題がある中で、1団体が中止し、8団体においてふれあい朝市が開催された。								

施策シート【22_01】ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	農業の担い手の育成、就農促進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
農業ふれあい体験者数	地元農家が育てた野菜などを収穫する農業ふれあいツアーの体験者数	1,700	1,750	1,800	1,850	人	農業振興課	5．農業ふれあい体験の実施
各年度の実績		1,334	1,210			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 天候の影響で作物が計画どおりに育たず、予定定員を縮小した地区もあり、参加者数が目標を下回った。一方で、応募初日に定員が埋まることから、高い市民ニーズがうかがえる。								
【施策指標の分析 R7】 天候の影響で作物が計画どおりに育たず、開催の中止や定員を縮小した地区もあり、参加者数が目標を下回った。一方で、応募初日に定員が埋まることから、高い市民ニーズがうかがえる。								
食農体験学習体験者数	地元農家の指導により植え付けから収穫までを連続的に体験する食農体験学習を体験した児童数	700	600	600	600	人	農業振興課	5．農業ふれあい体験の実施
各年度の実績		628	534			人	備考	
【施策指標の分析 R6】 農業者の負担が大きく、協力農家の確保が課題となっている中で、５年生の児童628人に体験する場を提供できた。								
【施策指標の分析 R7】 農業者の負担が大きく、協力農家の確保が課題となっている中で、実施校数が１校減少したが、５年生の児童534人に体験する場を提供できた。								

施策シート【22_01】ー 施策指標

観光にぎわい部

施策名称	農業の担い手の育成、就農促進

指標名	指標の説明	R6	R7	R8	R9	単位	担当課	関連する取り組み等
特産品の創出に向けたカラマンシーの生育本数	試験栽培を行うカラマンシーが２年目以降も定着し、生育している苗木の本数	ー	50	70	90	本	農業振興課	２．本市の特産物を活かした新たな商品開発
各年度の実績		ー	97			本	備考	
【施策指標の分析 R6】 ―								
【施策指標の分析 R7】 栽培本数のうち半数が枯れたが、97本が生育しており、中には実が成ったものもあり、引き続き試験栽培を行う。								